

島 根 大 学

# 保健管理センター年報

[2022年度]

島根大学保健管理センター



ご挨拶

松江保健管理センター長 山口啓子

2022年4月より島根大学保健管理センター長を拝命いたしました。生物資源科学部で環境関連教育の教鞭をとる、保健管理業務とは縁のない一学部教員の私ではありましたが、心身の不具合や不安から保健管理センターのお世話になる学生が増えているのを目の当たりにしておりました。学生のために汗を流して下さっている保健管理センターの、そして、センターを頼りにしている島根大学構成員のために、微力でも何かお手伝いが出来れば、と就任の依頼をお引き受けいたしました。

折しも、世界はコロナ禍。新型コロナウイルス COVID-19 が日本全国に感染者を増やし、何度かの感染拡大の波を受け、特に2021年夏以降から2022年度にかけては、島根大学の学生・教職員、関係者とその家族においても多数の感染者・濃厚接触者が出ました。一方で、2022年度は「With コロナ」が広く浸透し、感染拡大を抑えつつ、少しずつ日常を取り戻し、大学にも学生の活気ある姿が戻ってきました。大学の教育現場では、オンラインなど非対面中心から対面型へと授業形態を戻し、学内での感染状況の把握と管理は益々、必要性を増していきました。保健管理センタースタッフは、本学関係者の感染状況と経過、および濃厚接触者の把握を行い、丁寧なアドバイス等対応にあたってきました。学内クラスターの発生を最小限にとどめることに貢献したことは疑いありません。

このような混迷の中、2022年度には、より即応的かつ各キャンパスのもつ実情を踏まえた効率的な運営をめざして、保健管理センターの改組がありました。保健管理センターは松江保健管理センターと出雲保健管理センターそれぞれにセンター長を置き、私は松江保健管理センター長となりました。更に組織改変により独立した管理運営体制を確立しました。この改革の過程では、センタースタッフはもとより、担当理事、担当事務の方々の身を粉にするようなご尽力と、関係各位のご協力がありました。皆様のご尽力に心より、深く感謝いたします。

島根大学のヘルス・ケアの一拠点として、島根大学の松江保健管理センターと出雲保健管理センターはこれからも情報共有や活動協力し、大学構成員の健康と安全を守るために、力の限り務めて参ります。こちらからも同様に、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、おねがいいたします。

ご挨拶

島根大学 出雲保健管理センター長 田邊一明

2022年7月より出雲保健管理センター長を拝命しました田邊一明です。医学部内科学第四に所属し、専門は循環器内科です。これまで医師を養成する立場で、医学科学生に対して「自分が健康であることで、この先どれだけ多くの人を救うことができるか」ということを話してきました。しかし、裏返せば自分自身が幸運にも心身ともに患うことなくここまで来れたお陰であり、多くの人たちの支えによりもたらされた健康であると認識させられています。

保健管理センター長の立場となって、あらためてセンターの役割の重要性を知ることとなり、「自分の健康」は一人だけでがんばって一人だけで得ることではなく、常に有形・無形の他者の手助けと共にあるものだと感じています。一人だけで生きている人間は世界中どこにも存在しません。周囲の人とのつながり、他者とのコミュニケーションが重要です。

松江キャンパス、出雲キャンパスの保健管理センターが協力しながらみなさんが心身ともに健康な生活が送れるよう支援していきます。

## 「出雲保健管理センター 医師就任のご挨拶」

出雲保健管理センター 和氣 玲

2023年1月1日付けで、出雲保健管理センター教授を拝命いたしました、和氣 玲と申します。本紙面をお借りして就任のご挨拶を申し上げます。

私は2000年に島根医科大学を卒業し、母校の精神医学講座に入局致しました。以後、島根大学医学部附属病院精神科神経科で診療、研究、教育を続けてまいりました。診療面では、小児期から老年期まで様々な年代、様々な精神疾患を対象として、患者様に最適な医療を提供できるようにといつも考えながら現在まで外来診療を行っております。特に思春期外来を中心に担当させていただき、小児科の先生方、精神科の先生方、臨床心理士の先生方にご協力をいただきながら、附属病院子どものこころ診療部副部長として子どものこころ専門医の資格を取得し、児童思春期における様々な問題に関わってきました。研究面では、精神医学講座の稲垣教授のもと、精神疾患におけるバイオマーカー研究などを行い、様々な講座、大学や機関と共同研究を行っております。また、臨床心理士、公認心理師の資格を取り、2016年からは島根大学人間科学部福祉社会コースに在籍し、精神保健福祉士の養成のために学生の教育に従事してまいりましたが、精神医学講座にも兼任させていただき、診療や研究を継続させていただいております。この6年間、島根大学の新しい学部、大学院を立ち上げることの難しさも実感しながら、島根大学松江キャンパスで学生の教育を行っていく中で、学生・就職委員、教務委員、入試・広報委員、ハラスメント委員、障害学生支援にも関わり、さまざまな学生たち、さまざまな分野の先生方との出会いを通して、多角的な視点や多面的な関わりの重要性を学んでまいりました。

最近ではコロナウイルス感染症の影響もあり、学生や職員を取り巻く環境は変化し、一人一人が抱える負担は多様で対応が難しく、身体的、精神的な不調を抱える方も多くなっております。そのほか、心理面、環境面、発達要因など様々な問題を抱える学生や職員への対応も求められていると感じております。今後、島根大学医学部の学生、職員の健康や安全を守っていくためには、松江保健管理センター、大学教員、職員の皆様、附属病院各診療科のスタッフなどの多職種の皆様方はもちろん、地域の様々な医療、教育、行政機関などの多機関と密に連携を図る必要がございます。まだ力不足でご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、皆様方のお力添えを賜りながら、島根大学のために尽力して行く所存であります。どうぞ御指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



# 目 次

## 活 動

### 【松江保健管理センター】

I : 学術研究活動	1
1. 学会・研究会参加	
2. 学会・研究会発表	
3. 著書	
4. 学術論文	
5. 報告書	
6. 学術雑誌査読	
7. 研究助成	
8. その他	
II : 教育活動	5
III : 社会貢献・講演	6
IV : 事業・業務	7
V : 保健管理部門	8
1. 学生健康診断	8
(1) 定期健康診断・事後措置	
(2) 特別健康診断（放射性同位元素 RI 等取扱者）	
(3) 特殊健康診断（特化物質・有機溶剤等使用者対象）	
(4) 臨時健康診断（体育系部活・サークルの健康診断）	
2. 松江保健管理センター利用状況	12
(1) 学生・職員等の健康相談等	
(2) 禁煙相談・支援窓口、禁煙外来	
(3) 留学生対応	
(4) ヘルシーキャンパス活動	
(5) 新型コロナウイルス感染症対応	
VI : 学生相談部門	16
1. 学生定期健康診断時のカウンセラー面接	16
2. 学生相談室利用状況	16
3. 支援活動報告	20
(1) 概要	
2022 年度学生相談	
(2) 学生健康チェック	

(3) 学生相談室会議	
(4) 緊急支援	
VII : 教職員の健康管理	21
1. 教職員センター利用件数（再掲）（延べ数）	
2. 一般定期健康診断事後措置	
3. 特殊健康診断（特化物質・有機溶剤等使用者対象）	
4. 高ストレス者産業医面談	
5. 復職支援	
6. 学外メンタルヘルス相談	
VIII : 広報・教育活動	23
1. 全学研修会	23
(1) 依存症に関する講演会	
(2) ジェンダーに関する講演会	
(3) 飲酒に関する講演会	
2. 教職員対象の研修会	23
(1) 学部との学生相談連携会議	
(2) 新任教員・新採用職員研修	
(3) 大学入試試験における感染症対策研修	
(4) eラーニングの実施	
3. 学生対象の研修会	24
(1) 新入生対象オリエンテーション	
(2) 入学時オリエンテーション「健康な学生生活を送るために」	
(3) 「薬物乱用の注意」「カルトへの注意」	
4. 保健管理センターのしおり発行	24
5. 松江保健管理センターホームページ	24
IX : その他の活動	25
1. 学内機関との連携	25
(1) 障がい学生支援室	
2. 学外機関との連携	25
(1) 島根県東部発達障がい者支援センター「ウイッシュ」	
(2) 若者サポートステーション（さぼステ）	
(3) しまね性暴力被害者支援センターさひめ	

## 【出雲保健管理センター】

I : 学術研究活動	29
1. 学会・研究会参加	
2. 学会・研究会発表	
3. 著書	
4. 学術論文	
5. 報告書	
6. 学術雑誌査読	
7. 研究助成	
II : 教育活動	32
III : 社会貢献・講演	32
IV : 事業・業務	33
V : 保健管理事業	34
1. 学生定期健康診断 及び 事後措置	34
1) Forms による問診	
2) 胸部 X 線撮影	
2. 医学部生の感染症対策	
1) 新型コロナウイルス感染症対策	
2) 小児感染症および B 型肝炎・C 型肝炎抗体価検査	
3) B 型肝炎ワクチン接種	
4) インフルエンザワクチン接種	
5) 外国人研究留学生・外国人研究者健康診断	
3. 出雲保健管理センターの利用状況	
4. 出雲キャンパスにおける心理相談	

## 資料

I : 目標と計画	37
II : 保健管理体制	39
1. 組織	
2. 構成	
3. 島根大学教育・学生支援機構規則	
4. 松江保健管理センター規程	
5. 出雲保健管理センター規程	
6. 島根大学学生相談室規程	
7. 医学部学生相談室規程	
III : 沿革	53

# 活 動

【松江保健管理センター】



## I : 学術研究活動

### 1. 学会・研究会参加

2022年

5月	日本学生相談学会第40回大会（オンライン）	河野美江、執行三佳、猪口かおり
	第7回産業看護職交流会（オンライン）	長廻久美子
6月	第28回心臓リハビリテーション学会学術集会（オンライン）	杉原志伸
	島根県産業看護部会第81回研修会（オンライン）	長廻久美子
	第4回両立支援コーディネーター交流会（オンライン）	長廻久美子
7月	日本箱庭療法学会2022年第1回全国研修会	猪口かおり
8月	鳥取県臨床心理士会WS研修会（オンライン）	猪口かおり
	第52回中国四国大学保健管理研究集会（オンライン）（主管校）	河野美江、杉原志伸、猪口かおり、長廻久美子、小林沙世、山口啓子
9月	第4回禁煙推進学術ネットワーク学術会議（オンライン）	杉原志伸
	第70回日本心臓病学会学術集会（オンライン）	杉原志伸
	第32回日本産業衛生学会全国協議会（オンライン）	長廻久美子
10月	第60回全国大学保健管理研究集会	河野美江、杉原志伸、小林沙世
	第81回日本公衆衛生学会総会	杉原志伸
	第26回日本心不全学会学術集会	杉原志伸
	島根県産業看護部会第82回研修会（オンライン）	長廻久美子
	第13回禁煙支援研修会	長廻久美子
	第66回中国四国合同産業衛生学会（オンライン）	長廻久美子
11月	第9回世界女性メンタルヘルス学会（マーストリヒト）	河野美江
	令和4年度「若年性認知症における治療と仕事の両立支援事例検討会」	長廻久美子
	日本産業看護学会第11回学術集会（オンライン）	長廻久美子
	令和4年度島根県看護協会保健師職能研修会	長廻久美子
	第121回日本循環器学会中国地方会	杉原志伸
12月	第44回全国大学メンタルヘルス学会	河野美江、猪口かおり
	日本医学看護学教育学会第25回学術セミナー	河野美江

2023年

1月	第56回全国大学学生相談研究会議（オンライン）	河野美江、猪口かおり
	第3回T-HOC POCUSセミナー	杉原志伸
2月	島根県産業看護部会第83回研修会（オンライン）	長廻久美子
3月	第27回島根県母性衛生学会	河野美江
	第87回日本循環器学会学術集会	杉原志伸

- 3月 第41回島根学生相談研究会 山口啓子、杉原志伸  
河野美江、猪口かおり、  
長廻久美子、小林沙世、  
小林亮輔、執行三佳  
高橋朋子
- 第45回中国四国学生相談研究会 河野美江、高橋朋子

## 2. 学会・研究会発表

2022年

- 5月 「性暴力被害を受けた学生の回復を促す支援について」  
河野美江、執行三佳 日本学生相談学会第40回大会 大阪大学（オンライン）
- 6月 「地域における早期血管老化(Early Vascular Aging) の検討」  
杉原志伸 第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会（オンライン）
- 7月 「大学における性暴力への対応～予防から被害者支援まで～」  
河野美江 第52回九州地区保健管理研究協議会 特別講演（オンライン）
- 8月 「Formsを用いた学生健康チェックの意義」  
猪口かおり、河野美江、杉原志伸、執行三佳、小林亮輔、高橋朋子、小林沙世、長廻久美子、山口啓子 第52回中国四国大学保健管理研究集会 島根大学（オンライン）
- 9月 「日本の地方の大学生においてCOVID-19パンデミック前の睡眠障害はパンデミックにおけるうつ病と関連する」杉原志伸 第70回日本心臓病学会学術集会（オンライン）
- 10月 「ダイバーシティ推進からヘルシーキャンパスへ」  
河野美江 第60回全国大学保健管理研究集会 シンポジウム  
「Sleep disorders and IA are associated with depression in university students」Shinobu Sugihara The 81th Annual Meeting of the Japanese Society of Public Health  
「低体重の女子大学生の健康状態の特徴と指導介入のポイント」  
杉原 志伸、長廻久美子、小林沙世、猪口かおり、河野 美江 第60回全国保健管理研究会
- 11月 「急性心不全入院患者において約半数が摂取エネルギーが不足している」  
安原みずほ、杉原志伸、城田欣也 第26回日本心不全学会学術集会  
「Mini-Cogと歩行速度の複合評価はMAGGICスコアとともに心不全再入院に関連する」  
須山竜二、杉原志伸、城田欣也 第26回日本心不全学会学術集会  
“COVID-19 AND DOMESTIC/ SEXUAL VIOLENCE AGAINST WOMEN IN JAPAN” Yoshie Kono, 9<sup>th</sup> world congress on women’s mental health, Maastricht,  
ダイバーシティ推進の立場から「多様性をいかすマネジメントを考える」  
河野美江 日本医学看護学教育学会第25回学術セミナー シンポジウム
- 12月 「性暴力被害を受けた学生の学内支援に関するアンケート調査報告」  
河野美江、猪口かおり、執行三佳、大草亘孝、布施泰子、折橋洋介、岡本百合、清水幸登 第44回全国大学メンタルヘルス学会

2023年

- 3月 「島根県内医療機関における性暴力被害者への産婦人科医療支援について」  
河野美江 第27回島根県母性衛生学会

3月 「心疾患患者において大腿直筋厚は運動耐容能の層別化が可能な指標である」  
須山竜二、杉原志伸、須山朋子、他 第87回日本循環器学会学術集会

### 3. 著書

河野美江 「学生の性被害への対応」 「学生相談カウンセラーと考えるキャンパスの危機管理」 11-24, 遠見書房、2022年5月

### 4. 学術論文

河野美江 「性暴力被害を受けた学生への支援」 IDE現代の高等教育8-9月号、29-33, 2022

河野美江 「性暴力被害者への対応と支援—ワンストップセンターから見た支援—」 産婦人科の実際 71 (10) 1182-1186, 2022

Yasuko Fuse-Nagase, Toshiyuki Marutani, Kei-ichiro Watanabe, Yoshie Kono, Megumi Yamazaki, Zenichiro Honda, .  
Negative life events are associated with risk of mental illness among Japanese university students. Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports, 2022

Satoshi Miyazaki, Toshihiro Hamada, Shinobu Sugihara, et al.  
Xanthinuria Type 1 with a Novel Mutation in Xanthine Dehydrogenase and a Normal Endothelial Function.  
Internal Medicine, 2022;61:9

杉原志伸、河野美江 「大学生においてCOVID-19パンデミック前の睡眠障害はパンデミック後のうつ病の独立予測因子である」 島根医学42 (3) 31-42, 2022

### 5. 報告書

河野美江、執行三佳 「性暴力被害を受けた学生の回復を促す支援について」  
日本学生相談学会 第40回大会発表論文集P85, 2022. 5

河野美江 「大学における性暴力への対応—予防から被害者支援まで—」  
奈良県大学人権研究協議会 研究報告第17集47-64, 2022. 7

猪口かおり、河野美江、杉原志伸、小林沙世、長廻久美子、執行三佳、小林亮輔、高橋朋子、山口啓子. 「Microsoft Formsを用いた学生健康チェックの意義」  
第52回中国四国保健管理研究集会 報告書、40-44, 2022. 11

河野美江. 「ダイバーシティ推進からヘルシーキャンパスへ」  
第60回全国大学保健管理研究集会 プログラム・抄録集33, 2022. 10

河野美江 「大学における性暴力への対応～予防から被害者支援まで～」  
第52回九州地区大学保健管理研究協議会 報告書7-18, 2023. 2

杉原 志伸、長廻 久美子、小林 紗世、猪口 かおり、河野 美江  
「低体重の女子大学生の健康状態の特徴と指導介入のポイント」  
全国大学保健管理研究集会プログラム・抄録集. 2022. 10

## 6. 学術雑誌査読

河野美江 学生相談研究2022, CAMPUS HEALTH2022, 大学のメンタルヘルス2022

## 7. 研究助成

河野美江 令和2年度~令和5年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)  
「性暴力被害を受けた学生の『回復』を促す支援マニュアルの作成」  
(課題番号20K03460、研究代表者 河野美江)

河野美江 令和4年度~令和6年度 厚生労働科学研究費補助金 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (健やか次世代育成総合研究事業))  
「DV・性暴力被害者の医療と連携した支援体制の構築のための研究」  
(課題番号22SA1001、研究代表者 河野美江)

杉原志伸 科学研究費助成事業基礎研究(C)令和4年度~令和6年度 「若年女性の低体重者に対する体格の適正化を狙いとした包括的運動プログラムの構築」

## 8. その他

・書評

河野美江 「性暴力被害の心理支援」図書新聞3580号、2023年

・新聞

河野美江 2023. 3. 27 「子どもへの性暴力」 朝日新聞全国版

## Ⅱ：教育活動

河野美江

健康・スポーツ科学概論（基礎教育）  
ジェンダー（共通教養）  
病態治療学（専門教育）  
個を大切にするための心理学（専門教育）  
健康科学概論(医学部)

杉原志伸

健康・スポーツ科学概論（基礎教育）  
医学概論（専門教育）  
人体の構造と機能及び疾病（専門教育）  
病態治療学（専門教育）  
地域包括ケア概論(専門教育)  
健康科学概論（医学部専門教育）

猪口かおり

CS基礎（基礎教育）

### Ⅲ：社会貢献・講演

河野美江

全国大学メンタルヘルス学会理事  
全国大学保健管理協会評議員  
全国大学保健管理施設協議会メンタルヘルス委員会委員  
島根県母性衛生学会理事  
島根県健康相談アドバイザー  
島根県男女共同参画審議会委員  
島根県スポーツ協会専門委員会委員  
島根県社会福祉審議会委員  
島根県人権施策推進協議会委員  
松江市自死対策事業検討会委員  
松江市医師会学校保健部委員

一般社団法人しまね性暴力被害者支援センター理事・事務局長

○講演

2022.7「性を科学する～リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から」  
島根大学サイエンスカフェ オンライン

2022.9「若年層の性暴力被害予防の取り組みについて」令和4年度内閣府 若年層を対象  
とした女性に対する暴力の予防啓発のためのオンライン研修

2022.9「女性アスリートが抱える疾病等への対応」  
令和4年度島根県スポーツ指導者研修会

2022.10「DV被害者への対応について」島根県調停委員研修会

2023.2「大学における性暴力への対応～予防から被害者支援まで」  
奈良県立医科大学FD/SD講演会

2023.3「性の多様性と男女共同参画計画策定について」島根女性会議

○その他

中学校3校、高校1校、大学等4校、教員等専門職4回、NPO等3回、一般2回

杉原志伸

日本内科学会 中国支部評議員

日本循環器学会 中国支部評議員

日本循環器学会 禁煙推進部会委員

日本心不全学会 代議員

日本心臓病学会 心臓病上級臨床医 (FJCC)

国立大学保健管理施設協議会 国際交流推進特別委員会委員

大学における健康診断・健康関連情報の標準化と利活用に関わる調査委員会委員

松江市たばこ対策推進会議委員

松江工業高等専門学校倫理委員会委員

長廻久美子

日本産業看護学会 評議員

島根県産業看護部会 副会長

小林亮輔

島根県臨床心理士・公認心理師協会 倫理委員  
島根リハビリテーション学院「心理学」講義  
島根県立宍道高等学校「カウンセリング心理学」講義  
島根県警察本部少年女性対策課スーパーアドバイザー  
松江市個別地域ケア会議アドバイザー  
安来市個別地域ケア会議アドバイザー  
雲南市いじめ問題対策委員会 委員  
雲南市いじめ問題調査委員会 委員  
○講演

2023.3「高齢者ところ」白潟地区民生児童委員・福祉推進員合同研修会

#### IV：事業・業務

月	事業・業務
4月	・入学時定期健康診断（新入生） ・入学式救護 【4～5月】定期健康診断（在学生・留学生） 【4～7月】定期健康診断事後指導・措置（新入生・在学生・留学生）
5月	・特別健康診断（RI取扱者 学生・職員）
6月	・学生健康チェック
7月	・講演会「依存症について～当事者の声から紐解くその実際」渡邊洋次郎さん
8月	・第52回中国四国大学保健管理研究集会（島根大学、オンライン開催） ・特殊健康診断
9月	
10月	・第60回全国大学保健管理研究集会（北里大学） ・保健管理センターパンフレット発行 ・秋入学留学生健診 ・公開授業「多様な性と生」島根県立大学 藤田聖玲菜さん 【10～1月】学部との学生相談連携会議
11月	・公開授業「酒と健康」島根県断酒新生会会員、家族 ・特別健康診断（RI取扱者 学生・職員） ・推薦入学試験救護
12月	・学生健康チェック
1月	・大学入学共通テスト救護
2月	・個別学力試験（前期日程）救護 ・特殊健康診断
3月	・個別学力試験（後期日程）救護

## V：保健管理部

### 1. 学生健康診断

#### (1) 定期健康診断・事後措置

##### 健康診断項目

項目	学 部		大 学 院		留学生
	1 年	2 年以上	1 年	2 年以上	
計 測	○	○	○	○	○
血 圧	○	○	○	○	○
内 科	○	○	○	○	○
胸部X線	○	該当者・ 希望者	○	該当者・ 希望者	○
尿 検 査	○	—	○	—	—
WEB 問 診	○	○	○	○	○

#### 定期健康診断受診率

##### 学部

		1 年生		2 年生		3 年生		4 年生		5 年生以上	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
法 文	対象者数	86	102	93	104	88	105	97	103	29	23
	受診者数	85	102	69	91	48	84	49	57	4	2
	受診率(%)	98.8	100	74.2	87.5	50.4	80.0	50.5	55.3	13.8	8.7
教 育	対象者数	56	86	63	74	60	78	65	68	18	8
	受診者数	56	86	62	73	57	75	53	65	4	3
	受診率(%)	100	100	98.4	98.6	95.0	96.2	81.5	95.6	22.2	37.5
人 間 科 学	対象者数	20	61	21	65	22	64	26	55	6	4
	受診者数	20	61	17	64	17	60	17	49	2	2
	受診率(%)	100	100	81.0	98.5	77.3	93.8	65.4	89.1	33.3	50.0
総 合 理 工	対象者数	323	84	331	82	347	86	329	85	87	5
	受診者数	320	82	240	68	193	68	166	53	15	1
	受診率(%)	99.1	97.6	72.5	82.9	55.6	79.1	50.5	62.4	17.2	20.0
生 物 資 源	対象者数	116	85	122	83	123	98	119	98	26	9
	受診者数	114	85	98	75	72	71	54	64	4	3
	受診率(%)	98.3	100	80.3	90.4	58.5	72.4	45.4	65.3	15.4	33.3
計	対象者数	601	418	630	408	640	431	636	409	166	49
	受診者数	595	416	486	371	387	358	339	288	29	11
	受診率(%)	99.0	99.5	77.1	90.9	60.5	83.1	53.5	70.4	17.5	22.4

大学院

		1年生		2年生		3年生	
		男	女	男	女	男	女
人文社会科学研究科	対象者数	—	—	1	2	—	—
	受診者数	—	—	0	0	—	—
	受診率(%)	—	—	0.0	0.0	—	—
人間社会科学研究科	対象者数	8	16	11	16	—	—
	受診者数	8	16	5	15	—	—
	受診率(%)	100	100	45.5	93.8	—	—
教育学研究科・ 教職大学院	対象者数	10	11	12	5	—	—
	受診者数	9	9	8	1	—	—
	受診率(%)	90.0	81.8	66.7	20.0	—	—
総合理工学研究科 (博士後期課程)	対象者数	—	—	—	—	6	1
	受診者数	—	—	—	—	1	1
	受診率(%)	—	—	—	—	16.7	100
自然科学研究科 (博士前期課程)	対象者数	140	51	158	61	—	—
	受診者数	130	49	104	37	—	—
	受診率(%)	92.9	96.1	65.8	60.7	—	—
自然科学研究科 (博士後期課程)	対象者数	5	4	7	2	4	1
	受診者数	5	4	4	2	4	1
	受診率(%)	100	100	57.1	100	100	100
計	対象者数	163	82	189	86	10	2
	受診者数	152	78	121	55	5	2
	受診率(%)	93.3	95.1	64.0	64.0	50.0	100

連合大学院農学研究科：男子8名、女子2名

研究生、科目等履修生：男子1名、女子2名

事後措置

○結核検診（胸部X線撮影）

第一学年（入学年度）と実習のある学生、留学生を対象として健康診断時の胸部X線検査を実施している。ただし、結核問診の有所見者および医師が必要と判断した場合は対象に加えた。胸部X線有所見者には専門医療機関を紹介している。

受検者数	2,323	
要精密検査者数	8	
精密検査受験者数	8	
精密検査結果	異常なし	4
	要観察	2
	要治療	2

○血圧

健診当日、自動血圧計で2回測定し、どちらも高値（収縮期血圧 140 mmHg and/or 拡張期血圧 90 mmHg）を示した学生は、後日二次健診を行っている。二次健診でも血圧高値であった対象者を高血圧者とした。

二次健診の対象となった血圧高値者

	男子	女子
対象者数	257	82
受検者数	133	30
高血圧数(%対受検者)	46(34.6)	7(23.3)

○尿検査

学部・大学院新入生全員を対象に尿検査を施行している。有所見(陽性)者には、精密検査受診を勧奨し、医療機関を紹介している。

・新入生（学部）

	受検者	要精密検査者			精密検査受診者
		蛋白	糖	潜血	
男	531	4	1	3	3
女	389	4	0	6	4

・新入生（大学院）

	受検者	要精密検査者			精密検査受診者
		蛋白	糖	潜血	
男	87	0	0	0	
女	47	0	0	0	

(2) 特別健康診断(放射性同位元素 RI 等取扱者)

島根大学職員安全衛生管理規程第 23 条及び、島根大学総合科学研究支援センター遺伝子機能解析分野 RI 実験施設放射線障害予防規則第 18 条の規定により、放射線業務従事者の健診を年 2 回実施している。

1. 対象者：放射線・RI 取扱学生、教職員
2. 検査項目：①全身の自覚症状に関する問診  
② 皮膚・眼球・爪の性状などの視診  
③ 一般血液検査（松江赤十字病院）

		5～6 月	11～12 月
新規登録者	学生	21	7
	職員	0	1
既登録者	学生	37	0
	職員	37	35
計		95	43
要精密検査者		0	0

(3) 特殊健康診断（特化物質・有機溶剤等使用者対象）

健康障害の予防及び健康障害の早期発見を目的として教員に追加して学生に対しても特殊健康診断を8月～9月に実施している。但し、未受診者は2月の健診受診を勧奨している。

検査項目別受診者数（件数）

学 部	有機溶剤	特定化学物質	合計
教育学部	0	0	0
総合理工学部	23	22	45
生物資源科学部	0	6	6
自然科学研究科	31	26	57
合計	54	54	108

(4) 臨時健康診断（体育系部活・サークルの健康診断）

大学を代表して対外試合に出場するスポーツ選手や、強化合宿、体育実技、各クラブ活動の合宿などに対応して臨時健康診断を実施しているが、2022年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、活動縮小等に伴い健康診断の実施はなかった。

ウイルス感染症の拡大防止のため、活動縮小と大会等の中止に伴い健康診断の実施はなかった。

## 2. 松江保健管理センター利用状況

### (1) 学生・職員等の健康相談等

保健管理センター利用内訳（延べ数）

		学生	留学生	職員	その他	合計
測定・検査	Spo2	49	2	3	5	59
	身体測定	59	6	0	0	65
	視力測定	193	10	1	0	204
	血圧・脈拍測定	277	10	7	5	299
	体温・酸素化測定	42	2	3	5	52
	尿検査	28	0	0	0	28
	その他	14	0	0	0	14
診察・健康相談	内科系	315	12	20	3	350
	外科系	14	3	1	0	18
	禁煙外来	5	0	3	0	8
	動脈硬化相談外来	0	0	0	0	0
	母性相談	126	3	9	0	138
	栄養相談	18	3	0	0	21
	ミニレクチャー	0	0	0	0	0
	健診事後措置	310	10	3	0	323
	保健・生活指導他	996	84	104	33	1,217
	連携・会議	36	2	628	42	708
	コロナ対応	1,291	18	490	7	1,806
	その他	419	30	75	27	551
精神保健		555	27	137	23	742
産業保健		0	0	709	1	710
処置	投薬	417	16	29	0	462
	外科系	47	6	7	0	60
	休養室利用等	54	1	24	0	79
	リラクセス室・マッサージ機利用	6	0	5	0	11
専門医紹介	内科系	149	12	5	3	169
	外科系	98	23	5	1	27
	精神科	17	1	0	0	18
	婦人科	27	3	0	0	30
	その他	18	3	3	0	24
健康診断証明書(個別対応) ・紹介状発行		71	4	0	1	76
健康診断証明書(自動発行機)		(2,326)	(58)			(2,384)
合計		5,651	291	2,271	156	8,369

※（ ）内数字は合計に含まず

- ・学生は学部・大学院・研究生等で、その他は卒業生・家族等である。
- ・定期健康診断受検者数は含まない

保健管理部門月別件数（延べ数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
学生	488	476	475	664	321	131	230	153	182	97	66	54	3,337
院生	43	30	39	56	31	19	62	24	34	12	26	34	410
留学生	14	25	15	25	8	15	26	16	10	7	4	3	168
研究生等	1	0	1	3	0	1	0	2	0	0	0	1	9
職員	145	88	104	266	201	129	130	81	125	75	43	70	1,457
家族	6	6	4	6	9	8	3	6	4	4	2	9	67
その他	2	0	5	7	7	2	2	6	8	4	4	10	57
合計	699	625	643	1,027	577	305	453	288	363	199	145	181	5,505

精神保健相談内容男女別件数（延べ数及び実数）

		延べ数合計	実数合計
学部	法文	74	30
	教育	37	20
	総合理工	131	57
	生物資源	124	45
	人間科学部	83	22
	医学部	1	1
	小計	450	175
大学院	人文社会学研究科	0	0
	教育学研究科	11	2
	自然科学研究科	83	28
	総合理工学研究科	0	0
	生物資源科学研究科	0	0
	人間社会学研究科	10	1
	連合大学院農学研究科	1	1
小計	105	32	
留学生		27	14
研究生等		0	0
職員		137	62
家族		21	20
その他		2	2
合計		742	305

## (2) 禁煙相談・支援窓口、禁煙外来

保健管理センターでは無料の保健師による禁煙相談、医師による禁煙外来・禁煙補助薬処方（ニコチンパッチ、<sup>®</sup>ニコチネル TTS）を行っている。2022 年は 2021 年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として電話やメールでの禁煙相談も継続し、利用者延べ数は学生・教職員で 2 名への支援を行った。

## (3) 留学生対応

留学生に対して、健康診断問診表の英語版の作成、英語での診察、他医療機関受診時の通訳案内、サマースクールや秋入学の新入生への英語でのオリエンテーションを行っている。

新型コロナウイルス感染症に対する留学生の対応も適宜行った。2022 年度は年間延べ 168 名の留学生対応を行った。

## (4) ヘルシーキャンパス活動

11 月には全国保健管理協会と共催で松江キャンパスの学生・教職員を対象に「ウォーキングチャレンジ」を実施し、136 名の参加者があった。大学 FB やツイッター、学内掲示板、保健管理センター HP 上で情報発信を行った。



ウォーキングチャレンジ2022 参加者募集中！  
2022.09.27  
ウォーキング チャレンジ2022  
「みんなで月まで歩こう！」登録締め切りが10/30まで延長にな



ウォーキングチャレンジ表彰式  
2022.12.20  
ウォーキングチャレンジ終了  
月々に到達しました！

## (5) 新型コロナウイルス感染症対応

月別対応件（保健管理利用票より：内訳）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応件数	964	663	384	1,192	701	238	167	102	130	84	11	8	4,644

\* コロナ対応件数は 2022 年 3 月までは 1 人につき 1 件とカウントしていたが、2022 年 4 月以降は実状に合わせて対応件数分カウントに変更とした。

\* ワクチン接種後の副反応については会場での対応はコロナ件数にカウント、その他電話やメールでの相談は保健管理にカウントとした。

### ① 体調不良者及び、罹患疑い者の連絡体制の構築・維持

11 月からは国や自治体の方針に合わせて学内の報告 フォームを変更し、対応した。2022 年度のコロナ関連の報告件数は延べ 1,803 件であった。また、コロナ専用携帯を 2 名の医師で交代で携帯し、祝祭日を含めて 24 時間の緊急対応を 11 月まで継続した。また、出雲保健管理センターの体制維持のために、出雲キャンパスにおけるコロナ対応も随時行った。

## ②情報提供、資料作成

2022年度はコロナ関連の記事を7件作成し、保健管理センターHPに掲載した。また特に新入生に対しては「保健管理センターオリエンテーション」(60.8%視聴)の動画を作成し、大学での感染対策を周知した。



新型コロナウイルス感染症への オミクロン株対応2価ワクチン職  
大学の方針が変更となりました 域接種に関して

## ③ワクチンの職域接種

COVID-19の職域接種に関して計画の立案から事前の資料作成、相談体制の構築、接種実施を行った。接種に関する情報提供や相談窓口の周知もHP上で複数回行った

	実施日	接種合計(名)	臥位接種者・有症状者(名)
職域接種3回目	4月23日、4月24日 (在学生、教職員)	1,175	44
	5月10日、5月12日 (新入生対象)	363	8
職域接種4回目	12月15日～12月17日 (在学生、教職員)	670	22
合計		2,308	74

## VI : 学生相談部門

### 1. 学生定期健康診断時のカウンセラー面接

新入生を対象とする健康診断時に、医師による問診や事前スクリーニングにおいてメンタルヘルス不調と判断された学生に対し、会場に待機するカウンセラーが短時間の面接を行っている。

新入生健診時のカウンセラー面接実施者数

	所属	(人)
学部	総合理工学部	52
	法文学部	31
	教育学部	14
	生物資源科学部	31
	人間科学部	17
	計	145
大学院		24
合計		169

また、上回生においては、健診後必要な学生に電話面接を実施した。

上回生健診時のカウンセラー面接実施者数

	所属	(人)
学部	総合理工学部	24
	法文学部	10
	教育学部	13
	生物資源科学部	10
	人間科学部	8
	計	65
大学院		5
合計		70

### 2. 学生相談室利用状況

月別相談数 (延べ数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
学生	212	265	299	230	125	152	200	188	159	138	152	123	2,243
院生	17	25	22	16	19	19	26	29	19	23	24	19	258
留学生	2	1	7	1	0	1	6	2	3	2	1	0	26
研究生等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員	31	25	61	40	33	47	65	26	56	39	44	32	499
家族	7	8	23	13	6	9	7	7	6	9	8	7	110
その他	0	0	2	0	3	3	0	4	2	2	6	4	26
合計	269	324	414	300	186	231	304	256	245	213	235	185	3,162

学部別男女別内訳（延べ数）

	所属	延べ数	実数
学部	法文	448	94
	教育	256	71
	総合理工	751	200
	生物資源	442	102
	人間科学	342	66
	医学	4	3
	小 計	2,243	536
大学院	人文社会学研究科	0	0
	教育学研究科	29	3
	自然科学研究科（前期課程）	157	56
	総合理工学研究科（後期課程）	49	1
	自然科学研究科（後期課程）	5	2
	生物資源科学 研究科	0	0
	医学研究科	0	0
	人間社会研究科	18	5
	連合大学院 農学研究科	0	0
小 計	258	67	
	留学生	26	9
	研究生等	0	0
	職員	504	182
	家族	105	63
	その他	26	19
	合 計	3,162	876

相談内容の内訳（延べ数）

所属等		修学進路	対人関係	心身健康	学生生活	心理性格	家族家庭	ハラスメント	コンサルテーション	連携会議	緊急支援	発達	LGBT	インテイク	その他	カウンセリング	合計	
学部生	法文	男	23	7	62	30	7	0	0	0	0	0	0	0	8	0	137	
		女	22	16	139	77	6	1	2	0	1	0	3	0	0	39	5	311
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	教育	男	24	4	24	13	17	3	0	0	0	0	3	0	0	10	0	98
		女	14	5	46	42	17	4	0	0	0	0	5	0	0	24	1	158
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総合理工	男	114	19	137	147	10	0	3	2	2	14	5	0	0	70	2	525
		女	21	14	60	77	11	0	4	0	0	0	1	0	0	37	1	226
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生物資源	男	42	9	71	83	10	3	2	0	1	0	2	0	0	26	0	249
		女	16	3	84	48	9	6	7	0	0	0	0	0	0	18	2	193
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人間科学部	男	6	4	30	12	10	6	0	0	0	0	0	0	0	9	0	77
		女	29	16	136	32	16	1	0	0	0	1	0	0	0	32	2	265
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医学部	男	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		女	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	男	209	43	324	285	54	12	6	2	3	14	10	0	0	123	2	1,087
		女	103	54	466	276	59	13	13	0	1	1	9	0	0	150	11	1,156
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学院生	人文社会学研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	教育学研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		女	1	0	22	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	28
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然科学研究科 (前期課程)	男	37	1	12	29	0	0	0	0	0	0	1	0	0	11	0	91
		女	12	0	32	4	5	2	1	0	0	0	0	0	0	9	1	66
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総合理工学研究科 (前期課程)	男	9	0	9	7	0	0	1	0	1	8	1	0	0	2	0	38
		女	2	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	11
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

自然科学研究科 (後期課程)	男	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生物資源科学 研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人間社会研究科	男	2	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	女	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連合大学院 農学研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計	男	48	3	21	40	0	0	1	0	2	8	2	0	0	13	0	138
	女	15	0	72	7	5	2	5	0	0	0	0	0	0	12	2	120
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
留学生	男	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4
	女	3	1	9	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	20
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究生	男	0	1	1	0	0	0	4	12	3	0	0	0	0	1	0	22
	女	0	0	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員	男	1	0	2	0	0	0	1	97	264	6	0	0	0	12	0	383
	女	2	1	6	1	0	0	1	25	61	0	0	0	0	5	0	102
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族	男	0	0	0	0	0	0	0	14	1	0	0	0	0	1	0	16
	女	4	0	8	4	0	0	0	1	60	6	0	0	0	2	1	86
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	男	1	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	1	0	8
	女	0	0	2	0	0	0	1	0	4	1	1	0	0	0	4	13
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合 計	男	259	47	348	327	54	12	9	103	300	33	12	0	0	152	2	1,658
	女	127	56	565	288	68	16	20	28	128	8	10	0	0	170	19	1,503
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

### 3. 支援活動報告

#### (1) 概要

2022年度学生相談

- ・学生相談・精神保健件数は昨年度並みだった。
- ・生活リズムの乱れより「うつ症状」を呈し、投薬、受診の後、障がい学生支援室、心療内科へ紹介は昨年度同様である。
- ・4回生、院生において、卒論、修論でつまずき、意見書で配慮を求めた例が増えている印象（15例）
- ・教員から紹介された「気になる学生」 114名

#### (2) 学生健康チェック

学生が自分の状態をチェックでき、不安なことがある場合は保健管理センターに相談できるように「学生健康チェック」を行っている。

健康状態について自分でチェックしてみましょう。

もしも気になるときは、あなたの状態を入力・送信すると、ご希望の方法で保健管理センター・学生相談室より連絡を差し上げます。ちょっとした心配事でも大丈夫ですので、一度相談してみませんか？

送信いただいた内容は、保健管理センタースタッフのみが確認し、あなたの了解を得ずに指導教員や保護者等他の人に知らせることはありません。ただし、いのちや事件事故に関わると判断した場合には、あなたの了解を得ず保護者や指導教員等へ連絡をすることがあります。

保健管理センター松江では、「学生相談室をご利用の皆さんへ」を定めていますので、内容についてご確認ください。

2022年には、6月と12月に行い、6月は90名回答（身体的な不安13名、こころの不安21名、修学の不安25名）、12月は40名回答（身体的な不安8名、こころの不安6名、修学の不安3名）があった。回答者全員に保健管理センターから連絡し、面接につなげた。

#### (3) 学生相談室会議

各学部の室員および学生相談室スタッフによる会議であり、活動報告と今後の支援の全体像について検討を行っている。2022年度は障がい学生支援室と国際センターを加えた拡大学生相談室会議を行った。

第1回会議 2022年10月7日

第2回会議 2023年3月3日

#### (4) 緊急支援

緊急支援対応を要する事例1件に対し、当事者へのサポート、友人学生へのこころのケア、関係教職員へのコンサルテーションを行った

## Ⅶ：教職員の健康管理

### 1. 教職員センター利用件数（再掲）（延べ数）

身体測定等	診察・健康相談	処置	精神保健	産業保健(*)	その他	合計
14	1,333	65	138	709	13	2,272

### 産業保健(\*)月別利用件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
合計	67	67	62	47	58	47	51	67	82	40	59	63	710

### 産業保健(\*)対応件数年推移

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	109	203	313	555	710

産業保健に関する対応件数が年々増加している。個人面談だけでなく、所属や部局長とも連携をしながら対応を行っている。

### 2. 一般定期健康診断事後措置

令和4年度の教職員対象の健診受診率は94.6%であった。有所見者に対して受診勧奨二次や健診、他院への紹介を行った。

過去の健康診断受診率

年度	受診率 (%)
平成25年度	97.9
平成26年度	97.7
平成27年度	98.0
平成28年度	97.8
平成29年度	98.0
平成30年度	95.5
令和元年度	95.3
令和2年度	98.3
令和3年度	97.8

高い受診率で推移しており、引き続き人事労務課と連携しながら受診勧奨を行っていく。

### 3. 特殊健康診断（特化物質・有機溶剤等使用者対象）

該当教員の受診率は100%であった。有所見者は7名に対して受診勧奨や二次健診、他院への紹介を行った。

#### 4. 高ストレス者産業医面談

令和4年度の教職員のストレスチェックの受講率は83.0%であった。松江地区での高ストレス者97名の内10名(10.3%)と産業医面談を行った。また、2022年度からは高ストレス者の集団分析を実施し、リスクの高い部署の管理者と面談を行い、具体的な対策を検討した。その他、面談結果を事業者に報告する必要のない、内科医診察やカウンセラーによる職場内相談も同時に行った。

過去の受診率等

松江地区	令和3年	令和2年
受検率	88.7%	94.7%
高ストレス者率	10.1%	9.4%
産業医面談受診率	6.5%	6.3%

高ストレス者は例年約10%で推移しており、産業医面談の受診率は低値でとどまっている。

安全衛生委員会と連携しながら受診率を上げる対策を検討している。

#### 5. 復職支援

令和3年度の松江地区での休職者は13名であり、全員が精神疾患関連であった。休職後の復職者は3名であり支援に関して、人事労務課や担当部署と連携し、復職プログラムの施行や復職後の面談を継続した。

#### 6. 学外メンタルヘルス相談

教職員がカウンセリングを受けたいと希望しても学内の保健管理センターでは相談しにくい、とためらう場合も多いため、2020年2月より学外メンタルヘルス相談機関が設置され、教職員は5回まで無料で利用できるサービスが開始、継続となっている。

## Ⅷ： 広 報 ・ 教 育 活 動

### 1. 全学研修会

#### (1) 依存症に関する講演会

2022年6月30日に保健管理センター主催で依存症に関する講演会を実施した。講師として渡邊洋次郎さんに「依存症について～当事者の声から紐解くその実際」の講演をいただいた。

#### (2) ジェンダーに関する講演会

2022年10月28日保健管理センターとダイバーシティ推進室との共催で、教養教育課目「ジェンダー」の講義を公開講座としてハイブリッド形式で実施し261名（うち教養講義受講者約249名）の参加があった。講師として島根県立大学大学院の藤田聖玲菜先生に「多様な性と生」の講演をいただいた。

#### (3) 飲酒に関する講演会

2022年11月25日保健管理センターと島根県立心と体の相談センター主催で令和4年度アルコール関連問題地域セミナー、島根大学公開授業「酒と健康」を対面とオンデマンドのハイブリット形式で実施し38名の参加があった。保健管理センター杉原医師の講義と島根県断酒新生会の会員と会員家族から「アルコール依存症と回復へのみちのり」の内容で体験談をお話いただいた。

### 2. 教職員対象の研修会

#### (1) 学部との学生相談連携会議

ダイバーシティ推進室と共催で、「性の多様性に関するFD研修会」を各学部教授会の一部として実施し、教員の88%が参加した。

総合理工学部、教育学部、生物資源科学部、医学部看護学科 2022年10月26日

法文学部、人間科学部 11月16日

医学部 2023年1月11日

#### (2) 新任教員・新採用職員研修

2022年4月1日に「新型コロナウイルス感染症に対する島根大学の対応について」「気になる学生」についてオンライン研修を行った。

#### (3) 大学入試試験における感染症対策研修

新型コロナウイルス感染症予防対策として2021年に作成した「新型コロナウイルス感染症予防対策～个人防护具について～」（HP公開）、ノロウイルス感染症対策として2020年に作成した「ノロウイルス感染症対策～嘔吐物処理・消毒方法～」（HP公開）を改めて周知した。

#### (4) eラーニングの実施

11月より学生対応に関するeラーニング「withコロナ下での感染予防の健康維持について」を行い、99.5%以上の教職員が視聴した。

### 3. 学生対象の研修会

#### (1) 新入生対象オリエンテーション

新入生に対しては入学前より保健管理センターの紹介や新型コロナウイルス感染症対策の動画を作成しHPやMoodleで公開し情報の周知を行った。

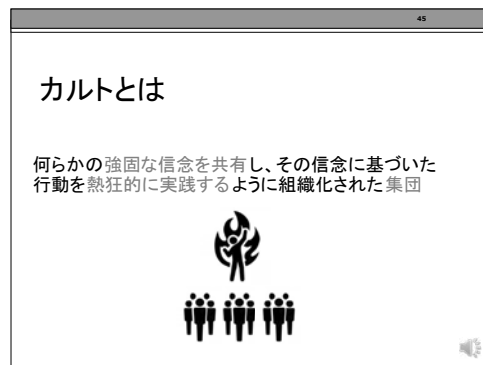
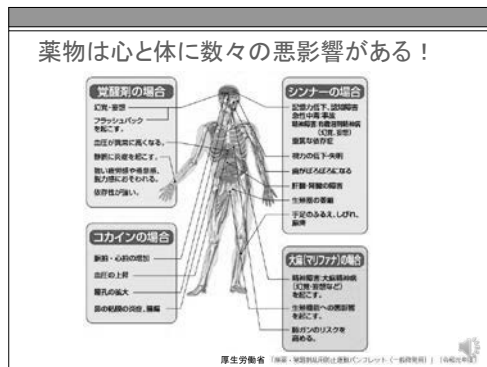
#### (2) 入学時オリエンテーション「健康な学生生活を送るために」

総合理工学部のCS基礎において、新入生を対象とする授業として、大学生活におけるメンタルヘルス上の課題や相談先の紹介、またコロナ禍におけるメンタルヘルスの維持に関する心理教育の動画を作成した。

#### (3) 「薬物乱用の注意」「カルトへの注意」

ほぼ全員の新生が入講する一般教養「健康スポーツ」の授業内で「健康な学生生活のために」と題して薬物乱用やカルトへの注意喚起を行った。

また、カルトに関しては合格通知に新生及び保護者宛にカルト集団の勧誘に注意する旨の文書を同封した。



### 4. 保健管理センターのしおり発行

保健管理センターのしおりを作成し新生、保護者、学内等に配布している。

### 5. 保健管理センター松江ホームページ

HPでは保健管理部門、学生相談部門に分けて活動の紹介を行っている。

センターの活動や健康に関する情報を随時TOPページに掲載している。

留学生への対応として英語でのページも作成している。

HPに対しては1年間でおおよそ4万件のアクセスがあった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
アクセス数	9,168	2,458	2,478	3,676	2,677	2,475	3,269	3,574	3,722	2,816	1,935	2,734	40,982

## IX : その他の活動

### 1. 学内機関との連携

#### (1) 障がい学生支援室

保健管理センター・学生相談室に相談のあった学生のうち、障がいに対する大学での合理的配慮を希望する学生や保護者を紹介している。また、障がい学生支援室に相談のあった学生のうち、心身の不調を伴う学生の紹介を受け、支援を行っている。

### 2. 学外機関との連携

#### (1) 島根県東部発達障がい者支援センター「ウィッシュ」

アセスメントや就職支援等必要な学生に対し、連携して支援にあたっている。

#### (2) 若者サポートステーション（さぼステ）

アセスメントや就職支援等必要な学生に対し、連携して支援にあたっている。

#### (3) しまね性暴力被害者支援センターさひめ

性暴力被害に遭った学生に対し、しまね性暴力被害者支援センターさひめを紹介し、必要に応じて各種相談等における連携を図っている。

## 大学における性の多様性への対応について

島根大学松江保健管理センター<sup>1)</sup>  
ダイバーシティ推進室<sup>2)</sup>

河野美江<sup>1,2)</sup>, 青木孝恵<sup>2)</sup>, 高橋朋子<sup>1)</sup>  
小林亮輔<sup>1)</sup>, 執行三佳<sup>1)</sup>,  
猪口かおり<sup>1)</sup>, 長廻久美子<sup>1)</sup>,  
小林沙世<sup>1)</sup>, 杉原志伸<sup>1)</sup>

### 【はじめに】

2018年に日本学生支援機構は、「大学等における性的指向・性自認の多様な在り方の理解増進に向けて」<sup>1)</sup>を発行し、いわゆる「性的マイノリティ」である学生が学生生活を送るうえで大学等に求められる対応に関し、大学としての基本理念を掲げ、主体的に取り組むよう提言した。2017年筑波大学<sup>2)</sup>で基本理念とガイドラインが作成されて以降、各大学で基本理念、ガイドラインが公開されている。

島根大学においては、2021年に拡大ダイバー推進室会議に保健管理センター医師、学生、精神科医師等をメンバーとした SOGI ワーキンググループを設置し、検討を開始した。今回、島根大学の「性の多様性に関する取り組み」の経過について報告する。

### 【学生・教職員へのアンケート】

SOGI ワーキンググループの学生より、構成員の理解と認識について学生・教職員へアンケートを取ったかどうかという意見があり、2021年12月から2022年1月にダイバーシティ推進室より学生、教職員にメール配信し、オンラ

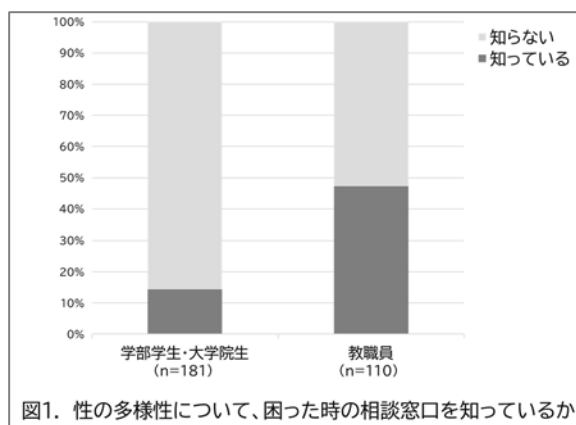


図1. 性の多様性について、困った時の相談窓口を知っているか

インアンケートを実施した（回収率：学生・大学院生 3.3%、教職員 4.9%、図1）。その結果、回答した学生の8割、教職員の半数が「性の多様性について困ったときの相談窓口」を知らなかった。自由記載では、「アンケートや受験の出願時の男女選択」、「カミングアウトする側、される側の相談について」、「セクシュアルマイノリティに関して正しく理解する必要性」、「多目的トイレの導入」等についての意見が寄せられた。

### 【性の多様性に関する基本方針】

アンケートをもとに検討し、2019年に行った「ダイバーシティ推進宣言」を2022年10月に「性別、性自認・性的指向、障がい、国籍、年齢、宗教、信条な

どにかかわらず、多様な価値観や生き方を尊重する学内文化を醸成し」と改定し、基本方針とした。同時に、「性の多様性に関する対応ガイドブック」を発行した。

【性の多様性に関するガイドブック】

<https://diversity.shimane-u.ac.jp/files/00303224/0320sei.pdf>

「性の多様性に関する相談窓口」は、松江・出雲保健管理センターとした。また学生への対応として、学籍簿の性別情報開示の制限、原則名簿の性別欄の廃止、学籍簿の通称名の変更、学籍簿の性別の変更を可能とし、施設については、多目的トイレの増設、個室シャワー、個室更衣室を検討するとした。

これらについて、学生に対しては松江保健管理センター・ダイバーシティ推進室 HP に掲載するとともに、多くの1年生が履修する教養科目「健康スポーツ」で紹介した。全学部の教職員に対しては、2022年後期に全学部の「性の多様性に関するFD研修会」において周知した。

【教職員からの質問】

Q1. 「野外実習が多いが、性別がわからないと対応できない」という質問があった。これは女性の場合はトイレを用意するが、男性の場合は屋外での排泄でいい、というものであった。

A1. 「男性の中にも、『おなかを壊しやすい人』『屋外での排泄に抵抗がある人』『見られたくない人』がいるかもしれません。トランスジェンダーで MtF (男性から女性) の人もいるかもしれません。なるべくトイレや更衣室を準備してください。もしくは『屋外での排泄が可能な人』の調査をしてはどうでしょうか」

Q2. 「宿泊研修の際に、性別がわからないと部屋割りができない」

A2. 宿泊実習に関するアンケート案を作成し、配布した。

<p>表1. 宿泊実習に関するアンケート ○○</p> <p>○○の実習に際し、調査を行います。 本調査の内容は、○○学部の宿泊に関するのみ利用され、他のことには使用しません。 また記載内容に関して、担当者以外には決してわかりません。</p> <p>1. 学籍番号・名前をお答えください</p> <p>2. 性別をお答えください 男、女、その他( )、答えたくない</p> <p>4. 宿泊部屋に関して希望を教えてください 男用フロア 女用フロア 個別対応希望</p> <p>5. 入浴に関して希望を教えてください 男用風呂 女用風呂 個別対応希望</p> <p>6. 個別に配慮希望があればご記入ください ( )</p> <p><small>※個別配慮につきましては、保健管理センターでの相談をお願いする場合がありますのでご了承ください。</small></p>
--

Q3. 「さん、君などの呼称をどうしたらいいかわからないので、保健管理センターで把握している当事者を教えてほしい」

A3. 「それはアウティングになるためできません」と回答し、アウティングの例を示した。

Q4. 「グループ活動で、男子の中に女子が一人だとかわいそうなので、いつも女子を複数にするようにしていた。配慮したいので、性別を教えてください」

A4. 「グループ活動でなじみにくい学生が増えているのは事実ですが、それには様々な要因が考えられます。グループの班分けに際して『配慮してほしいことについてのアンケート』を行ってはどうでしょうか。その中で『○○さんと一緒にいい』『同性と一緒にいい』とあれば、個別に配慮を行うほうがよいのではないのでしょうか」

Q5. 「文科省に提出するスポーツテストの長距離走では、性別により走る距離が違ふ。スタート地点を示すことでアウトディングになる場合もあるが、どうすればよいか」

A5. 教員と一緒に下記の説明文を作成し、授業で配布した。

・本授業では、授業の目標である「自己の体力・運動能力の現状を把握する」ために体力テストを実施し、その結果を文部科学省に提出します。性別の記入は、測定結果を分析するための評価点算出に用いますが、男女いずれの評価表を用いるかは自身で選択することができます。また性別の記載をしたくない人は、しなくてもかまいません。

・体力テストでは、持久走の距離のみ、性別で違いがあります（男子 1500m、女子 1000m）。ご自分の選んだ性別に合致した距離を走ってください。

・持久走を走らないという選択をすることもできますが、その場合、体力テストの評価が下がり、健康スポーツの評価にも影響があります。

#### 【考察】

2023 年も新入生数名から松江保健管理センターに「健診時の個別診察」、「名前の変更」、「性別の変更」、「体育の更衣について」の相談があった。性別の変更については、ダイバーシティ推進室で性別変更の要項を作成し対応した。なお、性別の変更は、原則在学中に一回とし、希望が変わった場合は元に戻せることも可能とした。

葛西<sup>3)</sup>は、LGBTQ+の学生が安心して学べる環境を作るために必要なこととして、①管理職などその場の長が積極

的に LGBTQ+の活動に参加していること、②その環境の倫理規定等に差別禁止について明記されていること、③職員全員が LGBTQ+について研修を受けていること、④さまざまな書類の性別、婚姻関係などについての記載について考えていること、⑤職場で使用されるポスター、案内、掲示等は、LGBTQ+の方々を含んだものになっていること、⑥職員の中に、当事者がいること、⑦地域の LGBTQ+の方々とつながること、としている。学長のダイバーシティ推進宣言のように、大学のトップが姿勢を示すことが最も重要であるが、否定的な考えをもっている教職員もいると考えられる。

「性の多様性に関しては、教職員の疑問に対してひとつひとつ検討し、丁寧に答えることが、ダイバーシティ環境を醸成すると考えられる。学生にとって性の多様性についての配慮が当たり前になるよう、体制を整備することが重要と考えられた。

#### 【文献】

1. 日本学生支援機構. 「大学等における性的指向・性自認の多様な在り方の理解増進に向けて」 2018. [https://www.jasso.go.jp/gakusei/publication/\\_icsFiles/afieldfile/2021/03/08/lgbt\\_shiryo.pdf](https://www.jasso.go.jp/gakusei/publication/_icsFiles/afieldfile/2021/03/08/lgbt_shiryo.pdf)
2. 筑波大学. 「LGBT 等に関する筑波大学の基本理念とガイドライン」 2017. [https://www.tsukuba.ac.jp/images/201703271334\\_LGBT\\_1.pdf](https://www.tsukuba.ac.jp/images/201703271334_LGBT_1.pdf)
3. 葛西真記子. 「教員の意識変容と啓発をどう行うか」 葛西真記子編著. 「LGBTQ+の児童・生徒・学生への支援」 28, 誠信書房, 2019

# 活 動

【出雲保健管理センター】



## I : 学術研究活動

### 1. 学会・研究会参加

2022年

- 11月 第63回日本児童青年精神医学会 和氣 玲  
第37回日本老年精神医学会（ハイブリッド開催） 和氣 玲

### 2. 学会・研究会発表

2022年

- 6月 「精神科医療を始点とした更生支援－窃盗を繰り返すギャンブル依存症者の支援から－」  
足立孝子, 和氣 玲, 稲垣正俊 第118回日本精神神経学会（ハイブリッド開催）
- 「日中の眠気への対応に苦慮したレビー小体型認知症の1症例」  
長濱道治, 河野公範, 槻宅雅史, 伊藤 司, 佐藤皓平, 錦織 光, 山下智子, 大拙孝治, 岡崎四方, 和氣 玲, 稲垣正俊 日本睡眠学会第47回定期学術集会（ハイブリッド開催）
- 7月 「睡眠関連食行動障害を発症したと思われる高齢者の1症例」  
長濱道治, 河野公範, 槻宅雅史, 正岡浩, 伊藤司, 佐藤皓平, 錦織光, 山下智子, 大拙孝治, 林田麻衣子, 岡崎四方, 和氣 玲, 稲垣正俊 第69回山陰精神神経学会 鳥取大学  
「電気けいれん療法において発作誘発のために種々の工夫が必要であった双極性障害の1症例」  
槻宅雅史, 長濱道治, 正岡浩, 伊藤司, 佐藤皓平, 錦織光, 山下智子, 大拙孝治, 河野公範, 林田麻衣子, 岡崎四方, 和氣 玲, 稲垣正俊 第69回山陰精神神経学会 鳥取大学
- 9月 「認知症診療における釣藤散の使用経験」  
長濱道治, 河野公範, 槻宅雅史, 伊藤司, 佐藤皓平, 錦織光, 山下智子, 大拙孝治, 林田麻衣子, 岡崎四方, 和氣 玲, 稲垣正俊 第11回日本認知症予防学会（ハイブリッド開催）
- 10月 「電気けいれん療法が嚥下障害の改善に寄与したと思われるレビー小体病の1症例」  
長濱道治, 三原靖葉, 錦織光, 山下智子, 河野公範, 大拙孝治, 林田麻衣子, 和氣 玲, 稲垣正俊 第27回日本神経精神医学会（オンライン開催）
- 「便秘を契機に精神症状を認め、治療に難渋した高齢者の1症例」  
長濱道治, 三原靖葉, 錦織光, 山下智子, 河野公範, 大拙孝治, 林田麻衣子, 和氣 玲, 稲垣正俊 第35回日本総合病院精神医学会（ハイブリッド開催）
- 11月 「精神科診療における半夏厚朴湯の使用経験」  
長濱道治, 河野公範, 槻宅雅史, 林真一郎, 正岡浩, 三原靖葉, 林茉衣, 伊藤司, 佐藤皓平, 錦織光, 山下智子, 大拙孝治, 林田麻衣子, 岡崎四方, 和氣 玲, 稲垣正俊 第32回日本臨床精神神経薬理学会（ハイブリッド開催）

「中学・高校における不登校生徒の進路状況の検討」  
稲垣卓司, 和氣 玲 第63回日本児童青年精神医学会

「乳幼児期発症の溶血性尿毒症症候群 (HUS) の治療経過中に、精神病状態を発症した1症例」  
和氣 玲, 稲垣卓司 第63回日本児童青年精神医学会

「不安・抑うつ気分に対して半夏厚朴湯が有用であった1症例」  
長濱道治, 河野公範, 槻宅雅史, 林真一郎, 正岡浩, 三原靖葉, 林茉衣, 伊藤司, 佐藤皓平, 錦織光, 山下智子, 大拙孝治, 林田麻衣子, 岡崎四方, 和氣 玲, 稲垣正俊 第62回中国・四国精神神経学会

「高齢初発の躁状態を呈した双極性障害の一例」  
和氣 玲, 錦織光, 長濱道治, 佐藤皓平, 伊藤司, 山下智子, 河野公範, 大拙孝治, 岡崎四方, 稲垣正俊 第37回日本老年精神医学会 (ハイブリッド開催)

「双極性障害の治療経過中にパーキンソン症状を認めた高齢者の1症例」  
長濱道治, 林真一郎, 正岡浩, 三原靖葉, 林茉衣, 槻宅雅史, 伊藤司, 佐藤皓平, 錦織光, 山下智子, 河野公範, 大拙孝治, 林田麻衣子, 岡崎四方, 和氣 玲, 稲垣正俊 第37回日本老年精神医学会 (ハイブリッド開催)

### 3. 著書

### 4. 学術論文

Shoko Miura, Keiko Tsuchie, Michiyo Fukushima, Ryosuke Arauchi, Toshiko Tsumori, Koji Otsuki, Maiko Hayashida, Sadayuki Hashioka, Rei Wake, Tsuyoshi Miyaoka, Masatoshi Inagaki, Arata Oh-Nishi: Normalizing hyperactivity of the Gunn rat with bilirubin-induced neurological disorders via ketanserin. *Pediatric Research*. 2022 Feb;91(3):556-564

大西 新、和氣 玲、宮岡 剛 他 精神疾患バイオマーカー 尿中バイオピリン 細胞 54(2): 91-94 2022年

Rei Wake, Tomoko Araki, Michiyo Fukushima, Hiroyuki Matsuda, Takuji Inagaki, Maiko Hayashida, Sadayuki Hashioka, Jun Horiguchi, Masatoshi Inagaki, Tsuyoshi Miyaoka, Arata Oh-Nishi: Urinary biopyrrins and free immunoglobulin light chains are biomarker candidates for screening at-risk mental state in adolescents. *Early Interv Psychiatry*. 2022 Mar;16(3):272-280

Miyaoka T, Wake R, Araki T, Tsuchie K, Inoue K, Horiguchi J: Efficacy and Safety of Sansoninto for Insomnia Symptoms in Child and Adolescent Patients of Psychiatric Disorders: An Open-Label Study. *Journal of St. Marianna Medical Institute*. 2022, 22(97), 8-16

Sadayuki Hashioka, Ken Inoue, Koji Otsuki, Maiko Hayashida, Rei Wake, Noriyuki Kawano, Haruo Takeshita, Masatoshi Inagaki: Contribution of "Genuine Microglia" to Alzheimer's Disease Pathology. Front Aging Neurosci. 2022 Mar 24;14:815307

Muhammad Alim Jaya, Maiko Hayashida, Keiko Tsuchie, Sultana Jannatul Ferdoush Jerin, Rahman Mamunur, Shoko Miura, Michiharu Nagahama, Koji Otsuki, Sadayuki Hashioka, Rei Wake, Tsuyoshi Miyaoka, Andi Jayalangkara Tanra, Jun Horiguchi, Masatoshi Inagaki: Effect of Ninjin' yoeito on Lipopolysaccharide-Induced Depressive-Like Behavior and Glial Activation in the Hippocampus. Shimane Journal of Medical Science, 2022; 39(1): 1-13

Yasuha Mihara, Koji Otsuki, Mai Hayashi, Satoko Yamashita, Michiharu Nagahama, Maiko Hayashida, Rei Wake, Sadayuki Hashioka, Satoshi Abe, Masatoshi Inagaki: Improvement in both severe obsessive-compulsive disorder and refractory tardive dystonia following electroconvulsive therapy: A case report. PCN Reports. 2022:e15

佐藤桃子、瀬戸和希、黒岩大史、加川允浩、和氣 玲、足立孝子、関耕平、藤本晴久 島根県の子育て世帯に必要な支援についての考察ーフードバンク利用世帯へのアンケート調査よりー 山陰研究 2022年

## 5. 報告書

佐藤桃子、瀬戸和希、黒岩大史、加川允浩、和氣 玲、足立孝子、関耕平、藤本晴久、宮本恭子  
「フードバンクしまねあったか元気便 アンケート調査結果報告書ー子育て世帯を支える地域社会に向けた提言ー」 フードバンクしまね 2023.

## 6. 学術雑誌査読

## 7. 研究助成

和氣 玲 令和3年度~令和6年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)  
「22q11.2欠失症候群患者にみられる精神疾患発症に関するストレス脆弱性の解明」  
(課題番号21K07864、研究代表者 和氣玲)

## II : 教育活動

和氣 玲

精神保健学I (専門教育)  
福祉の世界 (共通教養)  
人間科学入門セミナー (専門教育)  
精神医学I (専門教育)  
精神疾患とその治療 (専門教育)  
精神科リハビリテーション学I (専門教育)  
医学概論 (専門教育)  
人体の構造と機能および疾病 (専門教育)  
精神医学II (専門教育)  
健康・行動科学基礎論 (大学院教育)  
精神保健福祉実習指導 (専門教育)  
精神保健福祉実習 (専門教育)  
専門演習 (専門教育)  
神経科学I (大学院教育)  
生体機能測定学I (大学院教育)

## III : 社会貢献・講演

和氣 玲

日本神経精神医学会 評議委員  
日本心身医学会 中国・四国地方会 代議員  
日本精神科診断学会 評議委員  
島根リハビリテーション学院「精神医学」講義

○講演

2023.3 Psychiatric Treatment for young and adolescents in Shimane 座長 オンライン

#### IV : 事業・業務

月	事業・業務の予定
4月	新入生オリエンテーション 新入生健康調査 学生定期健康診断 実習前コロナウイルス感染症 定量検査
5月	学生定期健康診断 学生定期健康診断事後措置 実習前コロナウイルス感染症 定量検査
6月	学生定期健康診断事後措置
7月	学生定期健康診断事後措置 小児感染症およびB型・C型肝炎の抗体等に関する検査 B型肝炎ワクチン接種（学生・3回目） 実習前コロナウイルス感染症 定量検査
8月	医学部オープンキャンパス 第40回島根学生相談研究会参加
9月	第50回中国四国大学保健管理研究集会 実習前コロナウイルス感染症 定量検査
10月	外国人研究者健康診断 インフルエンザワクチン接種 実習前コロナウイルス感染症 定量検査
11月	入学者選抜試験（学士入学） インフルエンザワクチン接種 実習前コロナウイルス感染症 定量検査
12月	入学者選抜試験（推薦入学） 実習前コロナウイルス感染症 定量検査
1月	大学入学共通試験・救護 実習前コロナウイルス感染症 定量検査 B型肝炎ワクチン接種（医学部医学科・1回目）
2月	入学者選抜試験 救護 実習前コロナウイルス感染症 定量検査 B型肝炎ワクチン接種（医学部医学科・2回目）
3月	入学者選抜試験 救護 実習前コロナウイルス感染症 定量検査

## V : 保 健 管 理 事 業

### 1. 学生定期健康診断 及び 事後措置

4月～5月	健康診断の実施
	対象者：医学部学生および大学院生
	項目：Web 問診
	胸部 X 線検査（場所：附属病院放射線部）
	対象者：医学科 1 年、3 年、5 年、6 年 看護学科 1 年、3 年、4 年 大学院生
	医学部新入生の健康調査の実施
5月～6月	健康診断の事後措置を実施
6月～7月	総合判定の結果により、該当者（要医療・要精密検査）に対して受診勧奨を行う。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、出雲キャンパスにおける学生の入構制限や病院エリアとのゾーニングにより、Forms による問診と実習生のみ胸部 X 線撮影を実施した。

#### 1) Forms による問診

調査項目：既往歴、現在の身体・こころの健康状態、生活習慣、嗜好傾向について

事後措置：実施しなかった

#### 2) 胸部 X 線撮影

事後措置：有所見者なし

### 2. 医学部生の感染症対策

#### 1) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、出雲キャンパスにおいては学部生の入構制限、病院エリアとのゾーニングが徹底された。

3 密を避けること、入構前に健康観察記録をメールで報告すること、動線を決めることで学生同士の接触を避け、学生証により打刻を行い入構の確認が実施できることを基本とした。

感染予防行動についても適宜呼びかけを行い、体調不良者は学務課や指導教員と連携し、保健管理センターで情報の集約を行った。

早期から災害時支援の視点を導入し、臨床心理士と共に体とこころの両面に対して介入を実施した。

#### 2) 小児感染症および B 型肝炎・C 型肝炎抗体価検査

本学における医学部の学生は、各種感染症のハイリスクグループと考えられる。病院内等で配慮すべき感染症であるインフルエンザ、麻疹、風疹、ムンプス、水痘、B型肝炎等については、ワクチン接種によって予防可能な感染症であるため、医療従事者をはじめ、実習生、研修

生等はウイルス抗体価検査を行うとともに、率先してワクチン接種を実施することが推奨されている。

保健管理センターにおいて採血を行い、抗体価測定については(財)ヘルスサイエンスセンター島根に依頼した。

**検査項目** AST、ALT、 $\gamma$ -GTP、HBs 抗原・HBs 抗体、HCV 抗体  
風疹、麻疹、ムンプス、水痘・帯状疱疹の各抗体価

抗体価検査の事後措置：麻疹・風疹・ムンプス・水痘ワクチン追加接種

2020年に改訂された「医療従事者のためのワクチンガイドライン第3版」に基づき追加接種を行うこととした。紹介状を作成の後、個別にガイドライン改訂点および追加接種における注意点、接種可能なクリニックの紹介を行った。過去に2回の接種歴（記録がある）があれば不要とした。肝機能高値を認めた学生には紹介状を作成、受診を励行した。

### 3) B型肝炎ワクチン接種

抗体価検査対象者にB型肝炎ワクチン接種を行った。

### 4) インフルエンザワクチン接種

実習生である医学科5年生、看護学科3年生および国家試験対策として医学科6年生、看護学科4年生を対象にインフルエンザワクチン接種を実施した。

### 5) 外国人研究留学生・外国人研究者健康診断

(財)ヘルスサイエンスセンター島根に血液検査、胸部レントゲン撮影を依頼し、保健管理センターにて内科健診、身体計測、尿検査、血圧測定を実施した。

要精密検査の該当となった研究者には、紹介状を作成し受診を励行した。

## 3. 出雲保健管理センターの利用状況

自己健康チェックの支援、休養室利用、応急処置、健康相談、健康診断書発行、紹介状作成、こころの健康相談、学生・職員相談などを実施した。

## 4. 出雲キャンパスにおける心理相談

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、多様な相談内容、相談手段を設置したため、令和2年度より実施している臨床心理士が「こころの健康相談」と「学生相談」を継続して実施した。

・カウンセリング時には、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、学生との間隔を取る、換気の実施、机上にはアクリル板を設置し、マスク着用とした。

・感染症流行状況による大学および病院の規定に従い、電話やメールによる遠隔相談と感染対策を行いながらの対面面談を実施した。



# 資 料



# I：目標と計画

## 第4期中期計画

(令和4年4月1日～令和11年3月31日、関連する箇所のみ)

### V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

(1) ー2 AIの活用により、学生相談窓口等の定型業務をオンラインで対応できる体制を整備することで、学生の利便性や対応業務の効率を向上させる。

### X その他

#### 4. 安全管理に関する計画

- (1) 学内構成員の健康保持に努めるため、大学が実施する健康診断の受診環境を整備する等、法令等に基づき適正な安全衛生活動を実施する。
- (2) ストレスチェックに基づく高ストレス者への面接指導の勧奨や、敷地内禁煙にあわせて保健管理センターで行う禁煙相談・外来の周知を図るとともに、近年増加傾向にあるメンタルヘルスに関する相談に対応するために学外に設置した相談窓口を活用する等、教職員がより健康で働きやすい環境を整備する。

# 令和4年度 内部質保証に関する自己点検・評価書

(関連する箇所のみ)

## 2. 学生支援

### 2-1. 学生生活、就職等進路、ハラスメントへの相談等

学生生活全般に関する相談体制は、学生相談室を設置している。また、身体的・精神的な健康に関する相談体制は松江及び出雲の保健管理センターで行う体制が整えられ、障がい学生支援室と連携を図りながら、十分な相談支援を行っている。就職等進路の相談へも専門的知識を持った相談員を配置し、また、就職に係る様々なイベントを開催し就職支援を行っている。「ハラスメント対策規程」を制定し、ハラスメント防止・対策に関する方針の周知・啓発、研修・講習を実施している。また相談の窓口としてハラスメント相談員を置いている。

### コロナ禍における学生支援

コロナ禍による経済的理由によって修学を諦めることがないように島根大 学独自の支援基金による特例授業料免除を含む各種制度による経済的支援を行っている。また、コロナによる健康不安が増大する中、保健管理センターによる体調不良学生へのきめの細かい支援を行っている。

### 2-4. 今後の取組

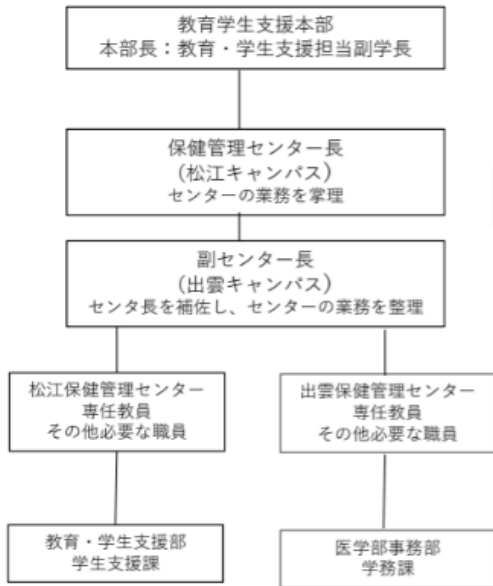
多様で複雑な相談内容が増加している中で、各部局の教職員と医師・カウンセラー・障がい学生支援担当教員等の専門職の連携をとるために、学務情報システムの特記事項（学生カルテ）への記入を徹底する他、教職員ハンドブック及び指導マニュアルの積極的な活用やeラーニングによる研修などを実施する。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類の見直しにより、活動の制約を受けていた学生たちが活発になっていくことを想定し、基本的な感染対策は引き続き指導し、アフターコロナにおける活発な課外活動を支援していく。

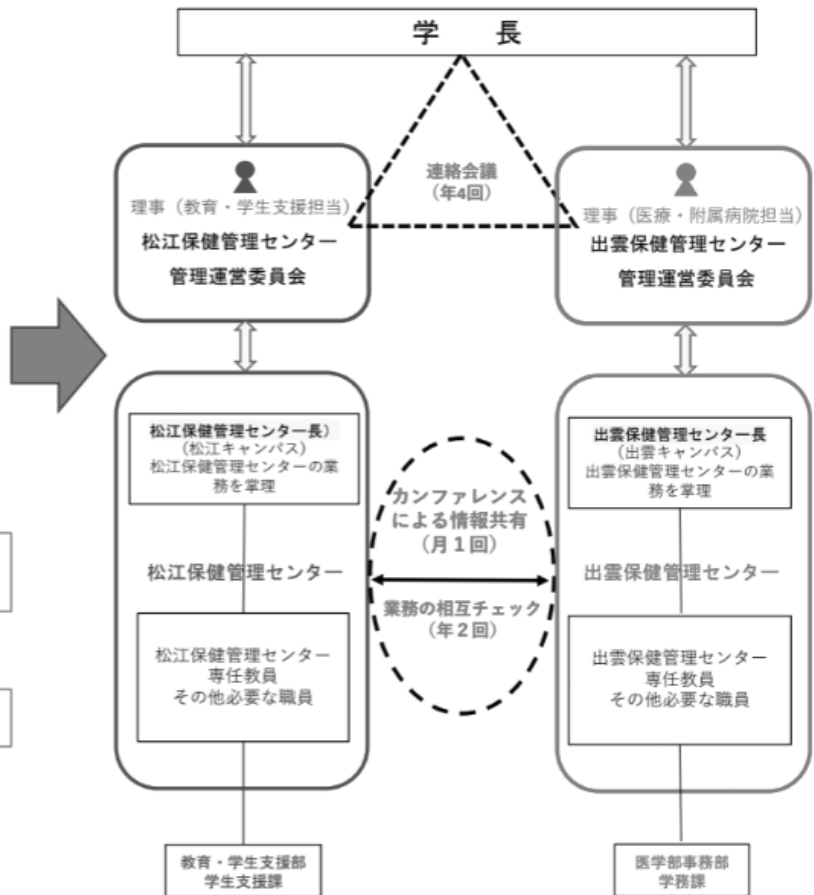
## II：保健管理体制

### 1. 組織

(平成29年度～令和4年11月)



(令和4年12月～令和5年3月)



## 2. 構成

(令和4年4月～11月)

センター長	山口 啓子 (兼任生物資源科学部教授)
副センター長	江副 智子
(出雲) 教授	江副 智子 (産業医)
保健師	井上 和子 (保健師)
嘱託講師	和田 葉子 (臨床心理士・公認心理師)
事務担当	錦織 千枝 (学務課総務係長)
(松江) 教授	河野 美江 (産婦人科医師・臨床心理士)
准教授	杉原 志伸 (内科医・産業医)
特任講師	猪口 かおり (臨床心理士・公認心理師)
嘱託講師	執行 三佳 (臨床心理士・公認心理師)
嘱託講師	小林 亮輔 (臨床心理士・公認心理師)
嘱託講師	高橋 朋子 (臨床心理士・公認心理師)
保健師	長廻 久美子
保健師	小林 沙世
事務担当	来間 圭三 (学生支援課課長)
	前森田 博義 (学生支援課補佐)

(令和4年12月～令和5年3月)

松江センター長	山口 啓子 (兼任生物資源科学部教授)
教授	河野 美江 (産婦人科医師・臨床心理士)
准教授	杉原 志伸 (内科医師・産業医)
特任講師	猪口 かおり (臨床心理士・公認心理師)
嘱託講師	執行 三佳 (臨床心理士・公認心理師)
嘱託講師	小林 亮輔 (臨床心理士・公認心理師)
嘱託講師	高橋 朋子 (臨床心理士・公認心理師)
保健師	長廻 久美子
保健師	小林 沙世
事務担当	来間 圭三 (学生支援課課長)
	前森田 博義 (学生支援課補佐)

出雲センター長	田邊 一明 (兼任医学部教授)
教授	和氣 玲 (精神科医師・産業医)
保健師	井上 和子 (保健師)
嘱託講師	和田 葉子 (臨床心理士・公認心理師)
事務担当	錦織 千枝 (学務課総務係長)

### 3. 島根大学教育・学生支援機構規則

(平成25年島大規則第15号)

(平成25年3月14日制定)

[令和2年12月28日最終改正]

(趣旨)

この規則は、管理学則(平成16年島大規則第1号)第16条の規定に基づき、島根大学教育・学生支援機構(以下「機構」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

機構は、島根大学(以下「本学」という。)の教育及び学生支援に関する企画・立案・実施・検証等を行い、もって本学の教育及び学生支援活動の充実発展に寄与することを目的とする。

2 前項の目的を達成するため、機構は、各学部・研究科等の学内組織と相互に連携を図るものとする。

(業務)

機構は、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 次条の各センター等の統括に関すること。
- 二 大学教育の質保証・改善に関すること。
- 三 学生の学修・学生生活支援に関すること。
- 四 教育成果の分析・評価に関すること。
- 五 その他機構の目的を達成するために必要な業務

(センター等)

機構に、次の室及びセンターを置く。

- 一 大学教育センター
- 二 保健管理センター
- 三 学生支援センター
- 四 障がい学生支援室

2 各センター等に関し必要な事項は、別に定める。

(組織)

第5条 機構に、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 機構長
- 二 専任教員
- 三 その他必要な職員

(機構長)

第6条 機構長は、学長が指名する理事をもって充てる。

2 機構長は、機構の業務を総括する。

(専任教員)

第7条 専任教員は、第4条第1項各号のセンター等のいずれかを担当させる。

(管理委員会)

第8条 機構の管理及び運営に関する事項を審議するため、教育・学生支援機構管理委員会（以下「管理委員会」という。）を置く。

2 管理委員会に関し必要な事項は、別に定める。

（事務）

第9条 機構の事務は、関係各課の協力を得て教育・学生支援部教育企画課において処理する。

（雑則）

第10条 この規則に定めるもののほか、機構に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。附 則（平成27年3月25日一部改正）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。附 則（平成28年3月15日一部改正）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、この規則による改正後の島根大学教育・学生支援機構規則（平成25年島大規則第15号）第7条第2項の規定は平成27年10月1日から適用する。

附 則（平成28年6月24日一部改正） この規則は、平成28年7月1日から施行する。

附 則（平成29年3月21日一部改正） この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月20日一部改正） この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月22日一部改正） この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和2年12月28日一部改正） この規則は、令和3年1月1日から施行する。

## 4. 松江保健管理センター規程

(令和4年島大規則第188号)

(令和4年11月22日制定)

(趣旨)

この規程は、島根大学松江保健管理センター（以下「松江保健管理センター」という。）の組織及び運営等に関し、必要な事項を定める。

(設置)

島根大学（以下「本学」という。）に、松江保健管理センターを置く。

(目的)

松江保健管理センターは、本学松江地区における保健管理に関する専門的業務を一体的に行い、学生及び職員の健康の保持増進を図るとともに、出雲保健管理センターと協同して本学の保健管理の充実を図ることを目的とする。

(業務)

松江保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 保健管理計画の企画及び立案
- 二 定期及び臨時の健康診断
- 三 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導
- 四 健康相談及び精神保健に関する指導・助言
- 五 環境衛生及び感染症の予防に関する指導・助言
- 六 保健管理に関する調査研究
- 七 その他保健管理について必要な専門的業務

(職員)

松江保健管理センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 松江保健管理センター長
- 二 松江保健管理センターを担当する専任教員
- 三 その他必要な職員

(松江保健管理センター長及びその選考)

松江保健管理センター長の選考は、本学専任教授の中から、第8条に規定する島根大学松江保健管理センター管理運営委員会の発議に基づき、学長が行う。

2 松江保健管理センター長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 松江保健管理センター長は、松江保健管理センターの業務を掌理する。

(専任教員の選考)

専任教員の選考は、次条に規定する島根大学松江保健管理センター管理運営委員会の発議に基づき、学長が行う。

(松江管理運営委員会)

松江保健管理センターに、島根大学松江保健管理センター管理運営委員会（以下「松江管理運営委員会」という。）を置く。

- 2 松江管理運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。
- 一 保健管理の基本方針
  - 二 組織運営に関する基本方針
  - 三 松江保健管理センター長及び専任教員の人事に関する事項
  - 四 予算及び概算に関する事項
  - 五 事業計画の策定及び実施
  - 六 その他松江保健管理センターの管理運営に関する必要な事項  
(松江管理運営委員会の組織)

松江管理運営委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 学長が指名する理事
  - 二 前号の理事が指名する教員 若干名
  - 三 松江保健管理センター長
  - 四 松江保健管理センターを担当する専任教員
  - 五 教育・学生支援部長
- 2 第1項第2号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 松江管理運営委員会に委員長を置き、委員長は、学長が指名する理事をもって充てる。  
(松江管理運営委員会の会議)

松江管理運営委員会は、委員長が招集し、議長は、委員長をもって充てる。

- 2 委員長に事故があるときは、委員長の指名する委員がその職務を代理する。
- 3 松江管理運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 4 松江管理運営委員会は、出席委員の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 松江管理運営委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門委員会等)

専門の事項を検討するため必要があるときは、松江管理運営委員会に、専門委員会等を置くことができる。

2 専門委員会等に関し必要な事項は、松江管理運営委員会において定める。  
(連絡会議)

第12条 学長は、保健管理センターに関して、松江保健管理センターと出雲保健管理センターにおける連絡調整を行う必要があるときは、各管理運営委員会の代表者による保健管理センター連絡会議を開催するものとする。

2 保健管理センター連絡会議については、別に定める。

(事務)

第13条 松江保健管理センター、松江管理運営委員会及び保健管理センター連絡会議の事務は、教育・学生支援部学生支援課において処理する。

## 附 則

- 1 この規程は、令和4年11月22日から施行する。
- 2 この規程の施行前に廃止前の教育・学生支援本部保健管理センター規程第6条第1項に基づきセンター長として選考された者は、この規程の施行後最初に任命される松江保健管理センター長として、この規程第6条第1項により選考された者とみなす。
- 3 前項により、この規程の施行後最初に任命される松江保健管理センター長の任期は、第6条第2項の規定に関わらず、令和5年3月31日までとする。
- 4 この規程の施行後最初に任命される第9条第1項第2号の委員の任期は、第9条第2項の規定に関わらず、令和6年3月31日までとする。
- 5 教育・学生支援本部保健管理センター規程（平成25年島大規則第22号）は、廃止する。

## 5. 出雲保健管理センター規程

(令和4年島大規則第189号)

(令和4年11月22日制定)

(趣旨)

この規程は、島根大学出雲保健管理センター（以下「出雲保健管理センター」という。）の組織及び運営等に関し、必要な事項を定める。

(設置)

島根大学（以下「本学」という。）に、出雲保健管理センターを置く。

(目的)

出雲保健管理センターは、本学出雲地区における保健管理に関する専門的業務を一体的に行い、学生及び職員の健康の保持増進を図るとともに、松江保健管理センターと協同して本学の保健管理の充実を図ることを目的とする。

(業務)

出雲保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 保健管理計画の企画及び立案
- 二 定期及び臨時の健康診断
- 三 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導
- 四 健康相談及び精神保健に関する指導・助言
- 五 環境衛生及び感染症の予防に関する指導・助言
- 六 保健管理に関する調査研究
- 七 その他保健管理について必要な専門的業務

(職員)

出雲保健管理センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 出雲保健管理センター長
- 二 出雲保健管理センターを担当する専任教員
- 三 その他必要な職員

(出雲保健管理センター長及びその選考)

出雲保健管理センター長の選考は、本学専任教授の中から、第8条に規定する島根大学出雲保健管理センター管理運営委員会の発議に基づき、学長が行う。

2 出雲保健管理センター長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 出雲保健管理センター長は、出雲保健管理センターの業務を掌理する。

(専任教員の選考)

専任教員の選考は、次条に規定する島根大学出雲保健管理センター管理運営委員会の発議に基づき、学長が行う。

(出雲管理運営委員会)

出雲保健管理センターに、島根大学出雲保健管理センター管理運営委員会（以下「出雲管理運営委員会」という。）を置く。

- 2 出雲管理運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。
- 一 保健管理の基本方針
  - 二 組織運営に関する基本方針
  - 三 出雲保健管理センター長及び専任教員の人事に関する事項
  - 四 予算及び概算に関する事項
  - 五 事業計画の策定及び実施
  - 六 その他出雲保健管理センターの管理運営に関する必要な事項
- (出雲管理運営委員会の組織)

出雲管理運営委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 学長が指名する理事
- 二 医学部長
- 三 医学部から選出された教員 若干名
- 四 出雲保健管理センター長
- 五 出雲保健管理センターを担当する専任教員
- 六 医学部事務部長

2 前項第3号の委員は、医学部長の申出に基づき学長が任命する。

3 第1項第3号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 出雲管理運営委員会に委員長を置き、委員長は、学長が指名する理事をもって充てる。  
(出雲管理運営委員会の会議)

出雲管理運営委員会は、委員長が招集し、議長は、委員長をもって充てる。

2 委員長に事故があるときは、委員長の指名する委員がその職務を代理する。

3 出雲管理運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 出雲管理運営委員会は、出席委員の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 出雲管理運営委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門委員会等)

専門の事項を検討するため必要があるときは、出雲管理運営委員会に、専門委員会等を置くことができる。

2 専門委員会等に関し必要な事項は、出雲管理運営委員会において定める。

(連絡会議)

学長は、保健管理センターに関して、松江保健管理センターと出雲保健管理センターにおける連絡調整を行う必要があるときは、各管理運営委員会の代表者による保健管理センター連絡会議を開催するものとする。

2 保健管理センター連絡会議については、別に定める。

(事務)

出雲保健管理センター，出雲管理運営委員会及び保健管理センター連絡会議の事務は，医学部事務部学務課において処理する。

附 則

- 1 この規程は，令和4年11月22日から施行する。
- 2 この規程の施行前に廃止前の教育・学生支援本部保健管理センター規程第7条第1項に基き出雲センター長として選考された者は，この規程の施行後最初に任命される出雲保健管理センター長として，この規程第6条第1項により選考された者とみなす。
- 3 前項により，この規程の施行後最初に任命される出雲保健管理センター長の任期は，第6条第2項の規定に関わらず，令和6年3月31日までとする。
- 4 この規程の施行後最初に任命される第9条第1項第3号の委員の任期は，第9条第3項の規定に関わらず，令和6年3月31日までとする。

## 6. 島根大学学生相談室規程

(平成16年島大規則第101号)

(平成16年4月1日制定)

[令和4年3月22日最終改正]

(設置)

第1条 島根大学松江キャンパスに、学生相談室（以下「相談室」という。）を置く。

(目的)

第2条 相談室は、学生の個人的諸問題について相談に応じ、必要な支援を行うとともに、円滑な相談業務を進めることを目的とする。

(業務)

第3条 相談室は、前条の目的を達成するため、各学部、各研究科、指導教員及び教育・学生支援機構保健管理センター等と連携し、次の業務を行う。

- 一 学生及びその関係者（以下「学生等」という。）の相談に応ずること。
- 二 学生相談に係る資料の収集に関すること。
- 三 相談室連絡会議に関すること。
- 四 その他相談室に関する必要な事項。

2 相談室の運営は、学生の厚生補導に関する規則（以下「厚生補導規則」という。）第4条第1項に定める島根大学学生支援委員会（以下「学生支援委員会」という。）において行う。

(組織)

第4条 前条の業務を行うため、相談室に次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 室長
- 二 相談員
- 三 室員

(室長)

第5条 前条第1号の室長は、保健管理センター長をもって充てる。

2 室長は相談室の業務を総括し、必要に応じて相談室連絡会議を開催する。

3 室長は必要に応じて、相談室の業務内容等に関して学生支援委員会へ報告等を行う。

(相談員)

第6条 第4条第2号に定める相談員は、次の各号に掲げるものをもって充てる。

- 一 保健管理センター教員及びカウンセラー
- 二 その他学生支援委員会が必要と認めた者 若干名

2 前項第2号の相談員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の相談員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 第6条第1項第2号の相談員は、学生支援委員会の推薦により学長が任命する。

4 相談員は、第2条の目的を達成するため、学生等と面談し、問題解決のための助言・支援を行う。

5 相談員は、室長が招集する相談室連絡会議に出席しなければならない。

(室員)

第7条 第4条第3号に定める室員は、次の各号に掲げるものをもって充てる。

- 一 各学部（医学部を除く）人間社会科学研究科及び自然科学研究科教員 各1名
- 二 その他学生委員長会議が必要と認める者 若干名

2 前項第1号に定める室員は、厚生補導規則第4条第2項に定める委員会（以下「部局等委員会」という。）委員のうちから、各学生委員長の推薦により学長が任命する。

3 第1項第2号に定める室員は、学生支援委員会の推薦により学長が任命する。

4 室員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の室員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 室員は、室長が招集する相談室連絡会議に出席しなければならない。

6 相談室における学生等の相談状況を部局に伝え、学生指導・支援の改善について部局に提言する。

7 室員は、所属する部局からの学生相談に対する要望等の集約を行う。

(相談室連絡会議)

第8条 相談業務を円滑に進めるための情報共有及び今後の対応等を審議するため相談室連絡会議を行う。

2 相談室連絡会議の構成員は第4条に定める職員とする。

3 相談室連絡会議は、室長が必要に応じて招集する。

(責務)

第9条 相談室の職員は、学生個人の秘密を厳守しなければならない。

(事務)

第10条 相談室の事務は、教育・学生支援部学生支援課において処理する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成30年8月1日から施行する。

2 この規則施行後最初に任命される第6条第1項第2号相談員については、同条第2項の規定に関わらず、平成31年3月31日までとする。

3 この規則施行後最初に任命される第7条第1項各号の室員については、同条第4項の規定に関わらず、平成31年3月31日までとする。

附 則（令和2年12月28日一部改正）

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

附 則（令和3年3月29日一部改正）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和4年3月22日一部改正）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

## 7. 医学部学生相談室規程

(平成16年4月1日制定)

(平成16年島大医学部規則第44号)

(設置)

第1条 島根大学医学部（以下「本学部」という。）に、島根大学医学部学生相談室（以下「相談室」という。）を置く。

(目的)

第2条 相談室は、学生の個人的諸問題について相談に応じ、必要な支援を行うことを目的とする。

(業務)

第3条 相談室は、前条の目的を達成するため、指導教員及び島根大学保健管理センター出雲（以下「センター出雲」という。）等と連携し、次の業務を行う。

- 一 学生の相談に応ずること。
- 二 学生相談に係る資料の収集に関すること。
- 三 その他相談室に関する必要な事項

(組織)

第4条 相談室に次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 室長
- 二 相談員 2名
- 三 その他医学部長が必要と認めた者

(室長)

第5条 室長は、センター出雲の教員のうちから医学部長が指名する。

2 室長は、相談室の業務を総括する。

(相談員)

第6条 相談員は、本学部の教授、准教授又は講師のうちから医学部長が任命する。

2 相談員は、相談者の問題解決のための助言及び相談対応者の調整等を行う。

(任期)

第7条 相談員の任期は2年とする。ただし、欠員が生じた場合の後任の者の任期は、前任者の残任期間とする。

(秘密の厳守)

第8条 相談室の職員、指導教員及びセンター出雲等の学生相談関係者は、学生個人の秘密を厳守しなければならない。

(事務)

第9条 相談室に関する事務は、学務課において処理する。

(細則)

第10条 この規程に定めるもののほか、相談室に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和元年5月8日から施行する。

附 則

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

### Ⅲ：沿 革

#### 1. 旧島根医科大学保健管理センター沿革

昭和50年	4月1日	島根医科大学開学	
昭和52年	4月1日	保健管理室業務開始	
平成3年	4月12日	保健管理センター開設（保健管理室を廃止）	
		初代所長 恒松徳五郎（内科学講座第三）教授	就任（併任）
平成3年	7月1日	保健師 米原満子 着任	
平成4年	3月16日	講師 野原隆彦（第一外科より）	着任
平成4年	4月1日	保健管理センター開所	
平成5年	4月1日	2代所長 加藤讓（内科学講座第一）教授	就任（併任）
平成7年	4月1日	3代所長 福本四郎（内科学講座第二）教授	就任（併任）
		非常勤カウンセラー 和田（津森）葉子	着任
平成8年	9月16日	4代所長 小林祥泰（内科学講座第三）教授	就任（併任）
平成10年	9月16日	5代所長 高島利一（内科学講座第四）教授	就任（併任）
平成12年	9月16日	6代所長 木下芳一（内科学講座第二）教授	就任（併任）
平成14年	9月16日	7代所長 加藤 讓（内科学講座第一）教授	就任（併任）
平成15年	10月1日	旧島根大学と島根医科大学が統合	

#### 2. 島根大学保健管理センター沿革

昭和41年	開学以来設置されていた学生健康相談所に代わり、昭和41年6月国立学校設置法施行規則第29条の2の規定に基づき学生の健康管理に関する専門的業務を行う厚生施設として、全国で4大学（東大、京大、長崎大、島根大）に設置された。		
	初代所長（併）	福井一明助教授（教育学部）	就任
		井上照雄助教授（精神科）	着任
	看護師	徳永末子	着任 ～昭和53年3月
	非常勤講師	村江通之（衛生学）	
	非常勤医師	石倉 幌（内科）	～昭和60年3月
		高橋富士郎（内科）	
		青戸陽一（歯科）	～昭和55年3月
		茂木五郎（耳鼻科）	

昭和42年4月	所長 非常勤医師	井上照雄助教授 西村 充 (耳鼻科)	就任 ~昭和55年3月
昭和47年12月	本部管理棟へ移転		
昭和51年4月	所長 (併) 助教授 非常勤医師	小滝信夫教授 (教育学部) 井上照雄 教授に昇任 中島隆司 (整形外科)	就任 ~昭和52年3月
昭和52年4月	所長 (併)	稲波正充教授 (教育学部)	就任 ~昭和57年3月
昭和53年4月	看護師 臨床検査技師	三崎キクノ 柏 (永海) 紀子	着任 ~昭和58年3月 着任 ~平成28年3月
昭和55年	非常勤医師	青戸泰吉 (歯科) 永松力 (内科)	~平成12年3月
昭和56年	非常勤カウンセラー 非常勤カウンセラー	落合潮 大西俊江講師 (教育学部)	着任 ~平成5年3月 着任
昭和58年4月	所長 講師 看護師	井上照雄教授 (精神科) 藤永佳代子 (小児科) 坪倉 (清水) 千歳	就任 ~平成5年3月 着任 ~昭和60年12月 着任
昭和60年4月	非常勤医師	池田博 (内科)	
昭和61年1月	講師	谷本浩一 (消化器内科)	着任 ~昭和61年12月
昭和61年2月	保健管理センター現在地に移転		
昭和61年4月	講師	船井哲夫 (精神科)	着任
平成4年4月	所長 講師	喜多村望教授 (教育学部) 船井哲夫 助教授に昇任	就任 ~平成7年3月 ~平成6年3月
平成5年4月	助教授 非常勤カウンセラー	荒川長巳 (精神科) 斉藤涉	着任 ~平成30年3月 着任 ~平成6年3月
平成6年4月	助手 非常勤カウンセラー	山本大介 (精神科) 和田 (津森) 葉子	着任 着任 ~平成9年3月
平成8年4月	所長 (併)	猪野郁子教授 (教育学部)	就任
平成9年4月	非常勤カウンセラー	足立富美子	着任 ~平成17年3月
平成14年4月	非常勤カウンセラー	早瀬眞知子	着任
平成15年4月	助教授	荒川長巳 教授に昇任	~平成30年3月
平成15年9月	講師	山本大介 助教授に昇任	~平成19年4月
平成15年10月	旧島根大学・島根医科大学 統合		
	所長(併)	猪野郁子 教授 (教育学部)	就任 ~平成17年3月
	副所長(併)	小林祥泰 教授 (医学部)	就任 ~平成16年3月
	教授	荒川長巳 (精神科)	

	助教授	山本大介 (精神科)		
	講師	野原隆彦 (外科)		
	看護師	坪倉千歳		～平成21年3月
	保健師	米原満子		～令和3年3月
	臨床検査技師	柏紀子		～平成28年3月
	非常勤医師	池田博 (内科)		～平成17年3月
	非常勤カウンセラー	大西俊江 名誉教授		～平成17年3月
	非常勤カウンセラー	足立富美子		～平成17年3月
	非常勤カウンセラー	和田葉子		
平成16年4月	国立大学法人 島根大学となる			
平成17年4月	所長(併)	蘆田耕一 教授 (法文学部)		～平成23年3月
	副所長(併)	杉本利嗣 教授 (医学部)		～平成21年3月
	特任講師	早瀬眞知子	着任	～平成28年3月
	非常勤医師	坂之上一史 (内科医師)		～平成28年3月
	講師	野原隆彦 助教授に昇任		
平成19年4月	助教授	野原隆彦 教授に昇任		
平成20年1月	講師	河野美江 (産婦人科)	着任	
平成21年4月	副所長(兼)	野原隆彦 教授 就任		～平成22年3月
	保健師	長廻久美子	着任	
平成21年5月	嘱託講師 (カウンセラー)	小林亮輔	着任	
平成22年4月	教授	江副智子 (予防医学)	着任	
	副所長 (兼)	江副智子 教授就任		～令和4年8月
平成22年4月	講師	河野美江 准教授に昇任		
平成23年4月	所長 (兼)	竹永三男 教授 (法文学部)		～平成26年9月
平成23年7月	嘱託講師 (カウンセラー)	執行三佳	着任	
平成24年4月	保健管理センター出雲内に「学生相談室」移転			
平成25年4月	島根大学教育・学生支援機構保健管理センターとなる			
平成26年10月	センター長(兼)	谷口隆雄教授(総合理工学研究科)	就任	～平成27年3月
平成27年3月	センター長(兼)	尾崎浩一教授(生物資源科学部)	就任	～平成31年3月
平成27年4月	嘱託講師(カウンセラー)	和田葉子 保健管理センター出雲「学生相談室」カウンセラー兼任		
平成28年4月	保健師	小林沙世	着任	
	特任講師	執行三佳	着任	～令和3年4月より 嘱託講師
	嘱託講師(カウンセラー)	早瀬眞知子	着任	～平成31年3月
平成30年4月	准教授	河野美江 教授に昇任		

	准教授	杉原志伸	着任	
8月	保健管理センター松江「学生相談室」開設			
10月	保健師	米倉かおる	着任	～令和2年2月
平成31年4月	センター長(兼)	河添達也教授(教育学部)	就任	～令和4年3月
	嘱託講師(カウンセラー)	高橋朋子	着任	
令和2年4月	保健師	井上和子	着任	
令和3年4月	特任講師(カウンセラー)	猪口かおり	着任	
令和4年4月	センター長(兼)	山口啓子教授(生物資源科学部)	就任	
7月	出雲センター長(兼)	田邊一明教授(医学部)	就任	

### 3. 島根大学松江保健管理センター沿革

令和4年11月	センター長(兼)	山口啓子教授(生物資源科学部)	～令和5年3月
	教授	河野美江(産婦人科)	
	准教授	杉原志伸(内科)	
	特任講師(カウンセラー)	猪口かおり	
	保健師	長廻久美子	
	保健師	小林沙世	
	嘱託講師(カウンセラー)	執行三佳	
	嘱託講師(カウンセラー)	小林亮輔	
	嘱託講師(カウンセラー)	高橋朋子	

### 4. 島根大学出雲保健管理センター沿革

令和4年11月	センター長(兼)	田邊一明教授(医学部)	就任
	保健師	井上和子	～令和5年3月
	嘱託講師(カウンセラー)	和田葉子	
令和5年1月	教授	和氣玲(精神科)	着任

島根大学保健管理センター一年報

[2022年度]

令和 5 年 12 月発行

島根大学保健管理センター  
〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060  
TEL 0852-32-6568

